

市民協働による取り組み

実績・評価一覧表

(令和4年度 実施事業)

協働形態	本調査における定義	件数	市支出額(円)
共催	市民活動団体等と行政が事業の共同開催者となり、企画・運営を行う方法	21	4,974,514
実行委員会	市民活動団体等と行政が共同で組織を立ち上げ、その組織が主催者となって事業の企画・運営を行う方法	112	110,931,329
参画	企画の策定段階から市民活動団体等が加わり、その意見を踏まえて事業を行う方法	2	498,099
協定	市民活動団体等と行政とが、協定を締結し、それに基づき事業を行う方法	27	6,823,880
合計		162	123,227,822

共 催

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
1	令和4年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業	共催	継続	特定非営利活動法人フィリピンナガイサ	「生活者としての外国人」のライフステージに寄り添い、自治体と連携して地域のハブ機能を担う日本語教育を全国に広げる。	定住外国人等を対象とする日本語教育の推進を図るため講演会を行った。テーマは以下のとおり。 ・ライフステージに寄り添う日本語教育を考える 開催日：令和4年11月5日、11月19日、12月3日、12月17日、令和5年1月7日、1月21日 延べ参加者数：80名	地域日本語教育の推進に資する取り組みであるから	相手	企画・運営	イベント周知、講師	相手	0	開催	4	4	4	4	4	企画調整部	国際課	参加者へのアンケート	影響なし		
2	自治会長研修	共催	継続	浜松市自治会連合会	自治会長を対象に、自治会の役割、活動、運営等に関する注意事項について情報提供するとともに、市の事業や助成制度などを知る機会を提供することで、自治会運営能力の向上を図る	自治会長に対して、自治会運営や自治会に関連のある市の施策などを説明するもの ・研修資料を市内全自治会長へ配付 ・5月9日から研修動画を浜松市自治会連合会のHPにて配信	市と市自治会連合会が同じ時期・同じ対象に行う研修を合同で実施することで、効率的かつ自治会長の負担が軽減されるため	不明	・研修資料の作成 ・研修動画の配信	・研修資料の作成 ・研修動画の撮影及び編集	なし	0	開催	-	5	5	5	5	市民部	市民協働・地域政策課		事業縮小・内容変更	対面による研修会は実施せず、研修資料の配布及び資料説明動画の配信による研修会を行った。	
3	まちむらりレション市民交流会	共催	継続	静岡文化芸術大学	都市部と中山間地域の異なる主体が、中山間地域の問題意識を共有し、共に連携して地域課題解決に取り組むきっかけづくりを図る。	中山間地域の課題や可能性について考えるまちむらりレション市民交流会の開催 参加者数：182人	静岡文化芸術大学と共催することで、より多くの人と、中山間地域の問題意識の共有・地域課題の解決に取り組めるため	双方	事業の実施	事業の実施	双方	222,840	開催	-	5	5	5	5	市民部	市民協働・地域政策課		影響なし		
4	スポーツ健康相談	共催	継続	公益財団法人浜松市スポーツ協会	問診を中心として、市民の健康増進や障害予防のアドバイスとスポーツ実践に関する相談を実施し、安全なスポーツ実践の援助を行う。	医師による生活習慣病予防や障害予防のアドバイスと講演会を通して医学的啓発活動の実施を行う。	事業目的を達成するため。	不明	講演会の運営や宣伝	協議会の参加により問題解決を図る	双方	445,756	開催	3	3	3	3	-	市民部	スポーツ振興課		影響なし		
5	指導者養成講習会	共催	継続	公益財団法人浜松市スポーツ協会	地域スポーツ指導者となる人材の育成のため、専門知識を有した講師による実技、講演の実施。また、教室・大会・イベントスタッフとして参加し実践経験を積む。	広く市民に呼びかけ、意欲のある指導者を計画的に育成し、一貫した正しい指導法を身につけた地域スポーツ振興のリーダーを育成するため、本講習会を開催する。また、現在登録されている地域スポーツ指導者の資質の向上を図り、市民の多様な要請に応じる力のある指導者を育成するために、継続的な講習会をおこなう。	事業目的を達成するため。	不明	講習会の運営及び宣伝	報告を受け、今後の運営について提言をする	双方	432,047	開催	3	3	3	3	3	市民部	スポーツ振興課		影響なし		
6	新聞切り抜き作品コンクール優秀作品展、特別教室	共催	継続	中日新聞NIE事務局	さまざまな教育効果が認められる「新聞切り抜き作品」の周知、普及	好きなテーマに沿って新聞記事を集めて切り抜き、自分の意見なども加えて再構成したオリジナル新聞のコンクールで優秀作品を浜松市博物館で展示する。併せてNIEコーディネーターが作品の作り方教室を開催する。	ここ数年継続的に実施している	相手	準備作業、当日対応 広報宣伝は共同実施	チラシ作成、会場提供	相手	0	開催	-	4	3	2	3	市民部	文化財課博物館		影響なし		
7	第26回静岡県すこやか長寿祭美術展	共催	継続	公益財団法人しずおか健康長寿財団	高齢者の創作した美術作品を広く募集し、作品を展示することにより、高齢者の文化活動を促進するとともに、ふれあいと生きがいづくりを図る。	日時：令和5年1月10日～15日 場所：静岡県コンベンションアーツセンター展示ギャラリー（グランシップ） 内容：日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門の作品を募集し、賞の選定、全作品の展示を行う	高齢者の創作活動の成果を広く周知する機会を設けるため。また静岡県全体にかかる、ねんりんピックの選考会も兼ねており、県・市単体で行うよりも効率的に運営ができるため。	相手	事業の実施	広報等	双方	252,560	開催	5	5	5	4	5	健康福祉部	高齢者福祉課	静岡県日本画連盟の代表による評価	影響なし		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
8	第33回静岡県県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会	共催	継続	公益財団法人しずおか健康長寿財団	高齢者を始め広く県民の参加を得て、スポーツ等を通じてふれあいと交流を図る。	日時：令和4年9月～令和5年3月 場所：グランシップ・エコバ、草薙総合運動場他県下会場 内容：38競技のスポーツ、文化の競技及び総合開会式（9月8日）	世代・地域を超えた交流の輪を広げるため。また静岡県全体にかかる、ねんりんピックの選考会も兼ねており、県・市単体で行うよりも効率的に運営が出来るため。	相手	事業の実施	広報等	双方	109,700	開催	5	5	5	4	5	健康福祉部 高齢者福祉課			影響なし		
9	第55回浜松市高齢者の作品展	共催	継続	浜松市老人クラブ連合会	高齢者の生きがいづくり増進を図るとともに、社会に対して高齢者福祉の思想の普及・啓発を行う	日時：令和4年11月17日～21日 場所：浜松市福祉交流センター 内容：高齢者の日頃の趣味の成果を発表する場を設け、生きがいづくりの機会を創出する 出品数：185点	シニアクラブ活動を通じて趣味活動の成果を広く周知する機会を設けると共に、各シニアクラブとの連携を効率的に取ることが出来るため	不明	事業の実施	企画、広報等	行政	399,744	開催	5	4	4	4	4	健康福祉部 高齢者福祉課	来場者に対してアンケート実施		影響なし	来場者への手指消毒・検温を実施し、例年どおり実施。	
10	浜松市医師会 PRESENTS 減塩・低カロリープロジェクト2022	共催	継続	一般社団法人浜松市医師会	市民の高血圧をはじめとする生活習慣病予防及び減塩に対する意識向上と実践につなげる	実施日：令和4年11月27日（日） 会場：浜松市医師会館 内容：市民の高血圧をはじめとする生活習慣病予防及び減塩に対する意識向上と実践につなげるためのセミナー。 ・推定塩分摂取量測定、尿検査、血糖値、血圧測定、医師によるミニレクチャー ・講演：医師、管理栄養士 ・体験コーナー：皮膚カロテノイド測定、浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健康クラブ」周知 啓発人数：40人	糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防について、浜松市全市民に対する罹患前からの食生活改善を呼びかけるため。	相手	企画、周知、当日の運営、アンケート調査報告等	周知、当日の運営	相手	0	開催	5	4	4	4	4	健康福祉部 健康増進課		事業縮小・内容変更	3年ぶりに集客による講座を実施したが、規模を縮小し、来場者人数を制限した。		
11	健康はままつ21講演会	共催	継続	一般社団法人浜松市医師会	医療・健康について講師が分かりやすく講演することで、市民の健康づくりへの意欲高揚を図る。	実施日：令和4年9月10日（土） 会場：アクティシティ浜松大ホール 内容：医療・健康について身近なテーマで講演することで市民の健康づくりへの意欲高揚を図る。当日講演をYoutubeでも配信し、広く市民への周知啓発を図る。 集客人数：295人 動画視聴回数：242回（令和5年3月末）	地域医療・健康を守るための団体として実績があり、連携することで、より多くの市民に医療・健康についての情報を伝えられるため。	双方	講演会実施	講演会実施	双方	1,260,699	開催	5	4	4	4	4	健康福祉部 健康増進課		その他	3年ぶりに集客による講座を実施したが、コロナ罹患を懸念する人が多かったのか、前回集客開催時の集客人数から半減した。		
12	食育活動活動支援事業	共催	継続	浜松市食育ボランティア	市民の食を通じた健康づくりを推進するため、地域において食育活動を実践する食育ボランティア団体の活動支援を行う	市民の食を通じた健康づくりを推進するための講座を協働で実施 82回 延1,015人参加	地域に根差した食育活動を実施する団体として実績があったため。	双方	講座の企画、周知、運営 ・講座の企画、周知、運営 ・会員の支援	双方	353,170	開催	5	4	4	4	4	健康福祉部 健康増進課		事業縮小・内容変更	調理実習は中止、講座時間の短縮や会場の規模に応じた受入人数の制限を設けた。			

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウィルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
13	はままつ食de元気応援店事業	共催	継続	はままつ食de元気応援店	市民の健康意識の向上と生活習慣病の発症予防を目的に、食品関連業者等と連携し、市民が健康に配慮した食事を選択できるような環境整備を図る	<p>・市民への栄養・食生活等の食を通じた健康づくり及び生活習慣病予防についての情報発信</p> <p>実施日：令和4年8月31日（水）～11月30日（水） 内容：2022ページアップキャンペーン 啓発人数：18,129人</p> <p>実施日：11月1日（火）～30日（水） 内容：カラダにいいこと始めよう「いいら！減塩」キャンペーン 啓発人数：4,032人</p> <p>市と協働及び店舗単独による啓発 啓発人数：6,866人</p>	<p>・市民の食生活に身近な食品関連業者と連携することで、多くの市民に食を通じた健康作りについて情報を伝えられるため。</p> <p>・健康に配慮した食事を選択できる食環境を作ることで市民の取組みにつなげられるため。</p>	双方	情報発信、食環境づくり	双方	712,855	開催	5	4	4	4	4	4	健康福祉部	健康増進課		新たな協働	集客による啓発は中止し、期間限定のキャンペーンを実施。減塩や野菜摂取量増加に向けた強化月間を設け、個人で取り組むことができるよう、野菜摂取や減塩に関するレシピ、「減塩のコツ」を掲載した小冊子を配布。	
14	摂食障害家族支援事業	共催	継続	浜松医科大学医学部附属病院精神科神経科	市で実施する摂食障害家族支援事業と共催することで、医療と行政が連携した継続的な家族支援を可能にするため。	<p>【支援検討会】日時：令和4年5月23日、令和5年2月27日 午後7時00分～午後9時 場所：精神保健福祉センター 内容：医療機関等との活動報告や協議、情報交換など 開催回数：2回 参加者：延べ20人</p> <p>【家族教室】日時：令和4年5月20日、6月17日、7月15日、10月21日、11月18日、12月16日 午後2時30分～午後4時30分 場所：精神保健福祉センター 内容：摂食障害患者家族の勉強会 開催回数：6回 参加者：延べ24人</p> <p>【摂食障害家族サロンひまわり】日時：令和4年5月28日、7月23日、9月24日、11月26日、令和5年1月28日、3月25日 午後1時30分～午後3時30分 場所：若者コミュニティプラザ 内容：摂食障害患者を抱えるご家族のつどい 開催数：6回 参加者：延べ33人</p>	静岡県摂食障害支援拠点病院（旧静岡県摂食障害治療センター）は、浜松医科大学医学部附属病院内）は、摂食障害患者の支援を行っており、浜松市精神保健福祉センターは、摂食障害を抱える家族への支援を行っている。患者と家族の支援が連携して行われることにより、包括的かつ一貫性のある支援が可能となるため。	行政	事業の運営補助、アドバイザー	行政	0	開催	5	5	5	5	5	4	健康福祉部	精神保健福祉センター	参加者へのアンケート実施	影響なし		
15	創エネ・蓄エネ相談支援事業	共催	継続	株式会社浜松新電力	市内中小企業のエネルギーの効率的利用及び事業用太陽光発電施設の適正な維持管理を促進する	市内中小事業者を対象に、事業者の省エネ事例の紹介を行う・創省蓄エネセミナー 令和5年2月7日 参加者数：47名	浜松新電力は浜松市の出資する地域新電力会社であり、太陽光発電所やバイオマス発電所から再エネ電力を供給することで脱炭素社会の構築・浜松市域RE100宣言へ貢献している事業者であるため。	双方	事業の実施	広報・周知	行政	665,830	開催	-	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		事業縮小・内容変更	会場・オンラインのハイブリッド形式でセミナーを行った。	
16	未来×エネルギープロジェクト	共催	継続	SBエナジー㈱	近年の環境やエネルギー問題に対する社会的意識の高まりを踏まえ、未来を担う子供たちにエネルギーについて教育を行う	子供たちにエネルギーについて考える機会を与えるイベントを開催。今年からは事業No3.に組み込んで開催	SBエナジー㈱は、市内で大規模太陽光発電所設置業者であり、近隣の小学校向けにエネルギーの講座を行っており、共催によってより多くの子供たちにその機会を提供できるため。	相手	事業の実施	広報・周知	相手	0	開催	-	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部	参加者アンケート実施	影響なし		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
17	エネルギー体験ツアー	共催	継続	電源開発 株式会社 浜松中間ソーラーパーク 株式会社 エナジー株式会社 アツミテック	市内のエネルギー関連施設を利用して、次代を担う小学生に対し環境教育を目的とする	「浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク」を親子で巡るツアーを開催。 ※令和4年8月3日26名 令和4年12月27日20名	浜松市エネルギーパーク登録の施設を見学しながらツアーを開催しており、施設の説明やエネルギーの教育等で先方の協力が必要であるため。	双方	会場提供・講師	事業の実施	双方	119,313	開催	-	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部	参加者アンケート実施	影響なし		
18	第22回グラウンドゴルフ大会	共催	継続	富塚小学校 富塚小学校区体育振興会、富塚西小学校 富塚西小学校区体育振興会	スポーツを通じた地域交流	グラウンドゴルフ大会の開催 日時：令和4年11月5日(土) 午後1時～ 会場：富塚西小学校 運動場	かねてから体育振興会と連携している事業。楽しみにしている地域住民が多いため。	不明	相談等	相談等	行政	0	開催	5	5	5	5	5	中区	まちづくり推進課(富塚協働センター)		影響なし		
19	ゆうゆうクラブ事業	共催	継続	篠原地区 青少年健全育成会	次代を担う青少年の健全育成を目指し、子どもをとりまくあらゆる立場の人々との連携を深め思いやりのある地域社会の確立	地域の小中学生を対象とした講座開催 講座内容：バドミントン、ドッジボール、トランポリン、ハンドメイドアクティビティ、夏休みふれあい勉強会 場所：篠原協働センター 参加者：延べ729名	事業の目的を達成するため、協働センター事業と連携し、地域一体となり青少年を地域で育てるため。	双方	事業の企画・運営	会場確保・提供	相手	0	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(篠原協働センター)		その他	参加者の体調管理(検温・手指消毒の徹底)	
20	新津ふれあいウォーク	共催	継続	新津地区 体育振興会	地区住民の健康増進を図り、かつ親睦を深めて明るく健全なまちづくりに寄与する。	ふれあいウォーク 日時：令和4年5月29日(浜名湖ガーデンパークを散策) 令和4年12月11日(フルーツパーク時之栖を散策) 内容：新津地区住民を対象としたウォーキング 参加者：延べ79人	地域のイベントや市の事業を開催するにあたり、お互いのノウハウを生かし進めることで効率的に実施することができるため	相手	企画、準備当日の実施	事業の窓口(広報、参加受付)	相手	0	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(新津協働センター)		その他	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、移動バスの座席を原則1名で2席分とした。	
21	ボラ活のすすめin都田「着物の着付けボランティア養成講座」	共催	継続	浜松市市民協働センター	定年退職またはこれから定年を迎える50代から70代がボランティア活動を始めきっかけを目的とした講座	養蚕が盛んであった都田の歴史を学びながら、夏祭りなどで活動できる着付けを学ぶ講座。 開催日：令和4年12月10日(土)、12月17日(土) 座学 都田郷土史実践 着付け 参加人数延べ13名	地域活動団体「都田郷土史の会」の協力を得て、座学を実践した。地域のまつりが再開される前に実技講座を行うことができた。	双方	企画、運営	会場提供、市民への周知	相手	0	開催	5	5	5	4	3	北区	まちづくり推進課(都田協働センター)		その他	ボランティアを必要とする事業を控えた。	

実 行 委 員 会

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウィルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
1	多文化フェスタはままつ2022	実行委員会	継続	多文化フェスタはままつ実行委員会	外国人市民が集住する本市の特徴を生かし、「多文化共生都市・浜松」を全国に発信するとともに、日本人市民と外国人市民の交流促進を図る。	多文化フェスタはままつ2022の開催 開催日：令和4年8月28日(日)13時から16時 場所：浜松市ギャラリーモール ソラモ 来場者数：3,800人	2003年から実施してきたサンパフェスティバルの後継事業	行政	企画・運営	運営	双方	3,610,986	開催	4	4	4	3	4	企画調整部	国際課		影響なし		
2	中山間地域特産品プロモーション事業	実行委員会	継続	浜松市中山間地域特産品プロモーション事業実行委員会	都市部市民が中山間地域を訪れる機会を提供し、地域の魅力に触れることで、新たな交流や定住を促進させるとともに、中山間地域の特産品の販路を開拓・拡大することにより、新たな物や人の流れの創出、特産品の知名度を向上させる。	・都市部住民と中山間地域住民のコロナレーションによる山の魅力体感イベント「ザ・山フェス」の開催 内容： ①ステージ ②ワークショップ ③物販 ④冊子P R 来場者数：約8,000人 ・中山間地域紹介冊子「天竜引佐」の発行(10,000部)	商工会や観光協会と事業共に実施することで、市内間交流の幅を広げることができるため	行政	負担金支出 企画・運営	事務局 負担金支出	双方	700,970	開催	5	4	4	5	4	市民部	市民協働・地域政策課		影響なし	-	
3	ザ・山フェス開催事業	実行委員会	継続	浜松市中山間地域フェア実行委員会	都市部市民が中山間地域を訪れる機会を提供し、地域の魅力に触れることで、新たな交流や定住を促進させるとともに、中山間地域の特産品の販路を開拓・拡大することにより、新たな物や人の流れの創出、特産品の知名度を向上させる。	・都市部住民と中山間地域住民のコロナレーションによる山の魅力体感イベント「ザ・山フェス」の開催 内容： ①ステージ ②ワークショップ ③物販 ④冊子P R 来場者数：約8,000人 ・中山間地域紹介冊子「天竜引佐」の発行(10,000部)	商工会や観光協会と事業共に実施することで、市内間交流の幅を広げることができるため	行政	負担金支出 企画・運営	事務局 負担金支出	双方	2,319,136	開催	-	5	4	4	5	市民部	市民協働・地域政策課		影響なし	-	
4	浜松シティマラソン	実行委員会	継続	(公財)浜松市スポーツ協会 中日新聞東海本社(一財)静岡陸上競技協会 テレビ静岡市民ボランティア	政令指定都市浜松において、スポーツを通じた健康づくりと地域社会づくりを目指し、さらなる郷土の活性化に寄与するとともに、市民とスポーツ愛好者との相互交流を図ることを目的とする。	浜松の中心市街地を約8,500人のランナーが駆け抜けるマラソン大会。「ささえるスポーツ」の推進のため、一般ボランティアの参加を募り、大会運営の協力をいただいている。	不明	双方	大会運営・ボランティア	大会運営	双方	16,000,000	開催	4	3	4	3	5	市民部	スポーツ振興課		影響なし		
5	いきいき健康フェスタ	実行委員会	継続	浜松商工会議所	ヘルスケアを推進する健康イベントを実施することで、市民の健康づくりへの意欲高揚を図る。	実施日：令和4年6月5日(日) 会場：浜松市ギャラリーモール「ソラモ」 内容：健康づくり啓発(チラシ4,000部、新聞折り込み20,000部)	健康・医療・福祉分野に関連する様々な団体が参画できることで、ヘルスケアについて効果的な周知啓発を実施することができる。	双方	イベント 企画・運営	実行委員会出席(企画・運営)	なし	0	開催	5	4	5	4	4	健康福祉部	健康増進課		事業縮小・内容変更	ステージイベントは中止	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
6	はままつ歯と口の健康週間事業	実行委員会	継続	(一般社団法人)浜松市歯科医師会	歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与すること	・浜松市歯科医師会と連携し、クリアート浜松、みをつくし、天竜区役所の3会場にて、歯と口の健康フェスタを実施(6月4日)。 参加者数 1,617人 ・浜松駅前にて啓発資料を配布(浜松市職員のみ)(6月1日) 1,500人に配布	厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科協会が実施している。 全国の地方自治体で期間内にイベントを実施することとなっている。	双方	企画・運営、負担金支出	企画・運営、負担金支出	双方	1,000,000	開催	5	5	5	4	4	健康福祉部	健康増進課		影響なし		
7	浜松花と緑の祭2022	実行委員会	継続	浜松花と緑の祭り実行委員会	花と緑のまちづくりの推進と中心市街地の活性化を図ること。	・開催日10月15日(土)・16日(日) ・会場：アクト通り ・内容：ステージ催し、花苗や植木の物販等 ・来場者数13,000人	関係者の協力等により、事業を推進しているため。	行政	企画の助言等、開催時の協力	事業の企画立案、実行	行政	3,812,858	開催	5	5	5	5	5	都市整備部	緑政課		事業縮小・内容変更	飲食スペースなし(テイクアウト)	
8	中央・北地区はたちの集い	実行委員会	継続	中央・北地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市中央・北地区成人式 開催日：令和4年1月8日(日) 会場：ホテルコンコルド浜松葵の間 出席者(新成人)：81人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	相手	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	376,205	開催	5	5	5	5	4	中区	まちづくり推進課	参加者へのアンケート実施	事業縮小・内容変更	・新型コロナウイルス感染症防止のため行った措置 ①飲食を伴う交流会の取りやめ ②国歌斉唱を国歌静聴に変更 ③不参加新成人及び保護者等付添者のためにYouTubeでのライブ配信実施	
9	高台地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	高台地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市高台地区はたちの集い 開催日：令和5年1月8日(日) 会場：あいホール 1階ホール 出席者(はたちの方)：153人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	397,390	開催	5	5	5	5	4	中区	まちづくり推進課(高台協働センター)		事業縮小・内容変更	来賓あいさつの省略、家族の入場制限	
10	高台協働センターふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	幸自治会 泉自治会 住吉自治会 和地山自治会 和合町自治会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図る。	○高台えんにち 5月22日(日) 参加者：延べ895人 ○一斉清掃 5月28日(土)・12月3日(土) 参加者：延べ208人 ○秘密の畑で芋ほり会 6月2日～10月10日(月・祝) 参加者：延べ10人 ○高台地域ふれあいスポーツ大会 11月23日(水・祝) 参加者：37人 ○高台さわやか音楽祭 12月3日(土) 参加者：61人 ○高台協働センターまつり 2月11日(土)・2月12日(日) 参加者：延べ2000人	地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのため。	行政	負担金支出 事業の実施	負担金支出 事業の実施	双方	267,316	開催	4	5	5	5	5	中区	まちづくり推進課(高台協働センター)		事業縮小・内容変更	協働センターまつり時に飲食について、専用の飲食スペースを設けた。	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
11	東部協働センターふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	江東地区自治会連合会、飯田地区自治会連合会	学習の成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して、住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図ること	○東部チャイルドフェスタ 東部チャイルドフェスタ 日時：令和4年8月7日 10:00～15:00 会場：東部協働センター 内容：地域交流を目的とした夏祭り 参加者数：約800人 ○東部協働センターまつり 日時：令和4年12月11日 10:00～15:00 会場：東部協働センター 内容：施設利用団体の芸能発表、作品展示、体験コーナー、食品バザー等 参加者数：約700人 ○婚活 日時：令和4年11月13日 9:00～13:00 会場：佐鳴湖、佐鳴台協働センター 内容：マッチングイベント等 参加者数：24人	協働センターの事業に関する企画及び実施について実行委員会とともに協議するとともに、各団体及び機関等の連携を密接に図るため	双方	事業の企画運営、事業に必要な労務の提供	事業の企画運営、文書事務及び会計事務	双方	336,169	開催	5	4	4	4	4	中区	まちづくり推進課(東部協働センター)		事業縮小・内容変更	東部協働センターまつりを通常2日開催を1日開催にした。	
12	飯田・相生小地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	飯田・相生小地区はたちの集い実行委員会(江東地区自治会連合会、飯田地区自治会連合会)	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年飯田・相生小地区はたちの集い 令和5年1月8日(日) 会場：アクトシティ浜松コングレスセンター3階31会議室 参加者：(はたちの方) 190人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出 事業の実施	行政	366,732	開催	5	4	5	5	4	中区	まちづくり推進課(東部協働センター)		事業縮小・内容変更	・交流会の中止 ・国歌斉唱を国歌静聴に変更 ・保護者席の中止	
13	城北・和合地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	城北・和合地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市城北・和合地区はたちの集い 開催日：令和5年1月8日(日) 会場：ホテルコンコルド浜松海の間 出席者：(新成人) 118人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	234,939	開催	5	5	5	5	4	中区	まちづくり推進課(西部協働センター)		事業縮小・内容変更	・飲食を伴う交流会の取りやめ ・国歌斉唱を国歌静聴に変更	
14	城北南地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	城北南地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市城南地区はたちの集い 開催日：令和5年1月8日(日) 会場：ホテルコンコルド浜松海の間 出席者：(新成人) 122人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	233,905	開催	5	5	5	5	4	中区	まちづくり推進課(西部協働センター)		事業縮小・内容変更	・飲食を伴う交流会の取りやめ ・国歌斉唱を国歌静聴に変更	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
15	西部協働センターふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	西部協働センターイベント事業実行委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運醸成し、生涯学習の推進を図るため。	○西部協働センターまつり 11月19日・20日(土・日)参加者:545人 ○大掃除 12月3日(土)参加者:72人 ○クリスマスコンサート 12月17日(土)参加者:121人 ○芸能大会(中止)	・住みやすいまちづくりのための気運醸成	双方	負担金の支出及び事業の実施	負担金支出及び事業の実施	双方	393,759	開催	4	4	4	4	4	中区	まちづくり推進課(西部協働センター)		事業縮小・内容変更	・クリスマスコンサートでは、観覧人数を減らし、密にならないよう実施した。	
16	江西地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	江西地区はたちの集い実行委員会(江西地区区自治会連合会)	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	はたちの集い 令和5年1月8日(日) 会場:グランドホテル浜松 参加者:75人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出事業の実施	行政	203,905	開催	5	4	5	5	5	中区	まちづくり推進課(南部協働センター)		事業縮小・内容変更	・飲食を伴う交流会の取りやめ ・国歌斉唱を国歌静聴に変更	
17	南部協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	江西地区自治会連合会、駅南地区自治会連合会、親睦子ども会ポータル大会実行委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運醸成し、生涯学習の推進を図る	○花いっぱい運動 令和4年5月～令和5年2月 月1回土曜日 各回8人で実施 ○地域活動団体による構内清掃 令和4年6月～7月・令和4年10月～11月 各地域活動団体が活動日に実施 参加者:約100人 ○親睦子ども会ポータル大会 令和4年6月5日(日) 参加者:75人 令和4年11月6日(日) 参加者:76人 ○南部協働センターまつり 令和4年10月23日(日) 参加者:約500人 ○地域ふれあいコンサート 令和5年2月18日(土) 参加者:50人	地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのため。	行政	負担金支出事業の実施	負担金支出事業の実施	双方	194,565	開催	5	5	5	4	5	中区	まちづくり推進課(南部協働センター)		事業縮小・内容変更	バレーボール大会が参加者が集まらず中止	
18	葵西・初生地区成人式開催事業	実行委員会	継続	葵西・初生地区成人式実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市葵西・初生地区成人式 開催日:令和5年1月8日(日) 会場:北部協働センターホール 出席者(新成人):197人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	348,792	開催	5	5	5	5	4	中区	まちづくり推進課(北部協働センター)		事業縮小・内容変更	・飲食を伴う交流会の取りやめ ・国歌斉唱を国歌静聴に変更 ・椅子の並び方等のソーシャルディスタンスの確保	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
19	葵東・高丘・花川・西丘地区成人式開催事業	実行委員会	継続	葵東・高丘・花川・西丘地区成人式実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、21歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市葵東・高丘・花川・西丘地区成人式 開催日：令和5年1月8日(日) 会場：北部協働センターホール 出席者(新成人)：186人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として平成14年から地域分散型による実行委員会形式で実施	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	382,560	開催	5	5	5	5	4	中区	まちづくり推進課(北部協働センター)		事業縮小・内容変更	・飲食を伴う交流会の取りやめ ・国歌斉唱を国歌静聴に変更 ・椅子の並び方等のソーシャルディスタンスの確保	
20	北部協働センターふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	北部協働センターイベント事業実行委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため。	○北部協働センターまつり 10月22日・23日(土・日) ○一斉清掃 6月11日、9月10日、12月10日(土) 参加者：148人 ○ジュニア公民館 8月6日・7日(土・日) ○北部ふれあいコンサート 6月19日(日) 参加者：108人	地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのため。	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	双方	456,977	開催	5	5	5	5	4	中区	まちづくり推進課(北部協働センター)		事業縮小・内容変更	・まつりは事前収録した演技等のVTRをセンター内で放映し、当日の来場者を減らした。 ・ジュニア公民館はYouTubeでの配信やZOOMを使い双方向で配信するなど、リモートで開催した。	
21	協働センターを核とした地域課題解決事業「あおぞら協働センター(移動型協働センター)の運営～つまなぶ・むすぶの創造拠点～」	実行委員会	継続	あおぞら協働センター実行委員会	地域コミュニティ活性化	【期間】R4.6.25(土)～R4.12.4(日) 【場所】佐鳴湖公園	・あおぞら協働センター(移動型協働センター)を開催。 ・「人が集まると何か起きる」をコンセプトに、人々の集まりやつながりを大切にしながら地域住民との交流を深め幅広い知見を身に付けるため、ワークショップ等を19回開催。参加者延べ887人。	行政	実施、相談等	実施、相談等	行政	441,360	開催	5	5	5	5	5	中区	まちづくり推進課(富塚協働センター)		影響なし		
22	富塚地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	富塚地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする機運を一層盛り上げるため	日付：令和5年1月9日(日) 会場：富塚協働センター 新成人：出席者145人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施	行政	役務の提供	負担金支出事業の実施	行政	322,905	開催	5	5	5	5	5	中区	まちづくり推進課(富塚協働センター)		影響なし		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウィルスの影響	影響の具体的内容	備考		
									相手方の役割	行政の役割																
23	富塚地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	富塚協働センターイベント事業実行委員会	地域のふれあいとにぎわいの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回ごみゼロフェスタ 日時：令和4年5月29日（日）午前9時～午後4時 来場者：1,279名 ・富塚ハート事業 <アオハル音楽祭> 日時：令和4年8月25日（木）午後4時30分～午後6時 来場者：35名 <ワークショップ ヤー！ヤー！ヤー！ミニ緑日> 日時：令和4年10月1日（土）、2日（日）午前10時～午後3時 来場者：378名 <富ツクオアトリート！2022> 日時：令和4年10月30日（日）正午～午後4時 来場者：1,651名 <スポGOMI> 日時：令和4年12月3日（土）午前10時～午後1時 来場者：64名 ・一斉草刈・清掃 日時：令和4年5月21日（土）午前9時～午前10時ほか3日 参加団体：67 ・公民館のしあさって コラボ企画 日時：令和4年7月23日（土）午後1時30分～午後3時30分 来場者：32名 ・夏祭り 日時：令和4年7月23日（土）午後4時～午後8時 来場者：2,245名 ・ハロウィン・プロギング 日時：令和4年10月29日（土）午前9時～正午 来場者：81名 ・富塚協働センター祭り 日時：令和4年11月26日（土）、27日（日）午前10時～午後3時 来場者：1,635名 ・富塚クリスマスコンサート 日時：令和4年12月10日（土）午後2時30分～午後4時 参加者：205名 ・第31回おもしろウルトラウォーキング 日時：令和5年2月11日（土）午前9時～午前11時 参加者：205名 	協定書締結によるもの	行政	負担金支出事業の実施	負担金支出事業の実施	行政	466,143	開催	5	5	5	5	5	5	中区	まちづくり推進課（富塚協働センター）			影響なし		令和3年度実施のハロウィン・プロギングは、イベント事業での開催となった。
24	浜松市曳馬地区はたちの集い	実行委員会	継続	曳馬地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳を節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする機運を盛り上げる。	令和5年浜松市曳馬地区はたちの集い 開催：令和5年1月8日（日） 会場：ホテルクラウンパレス 4階英蓉の間 参加者：新成人212人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	不明	事業の実施	負担金の支出及び事業の実施	行政	557,633	開催	5	5	5	5	5	中区	まちづくり推進課（曳馬協働センター）			軽食などは実施せず式典だけの開催となった。			

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
25	曳馬協働センターふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	曳馬協働センターイベント事業実行委員会	今まで学習してきた成果を発表する場づくりや地域に住む人々と協力して住みやすいまちづくりのための機運を醸成し、生涯学習の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなでのお米づくり R4年5月～11月 参加延べ人数：153人 ○敷地内美化活動 R4年6月～R5年2月 ○敷地内一斉清掃 R4年10月 参加者：120人 ○協働センターまつり R4年11月 参加者：1,174名 ○三代交流事業 開催：R4年12月 参加者：80人 ○ボートボール大会 R5年1月 参加者：300人 	協働センターの事業に関する企画及び実施とともに協働するとともに、各団体及び機関等の連携を密接に図るため	双方	負担金の支出、事業の実施	双方	390,930	開催	5	5	5	5	5	5	中区	まちづくり推進課(曳馬協働センター)		事業縮小・内容変更	施設内での飲食を禁止し、食品の販売はテイクアウト用のポップコーンのみとした。会場の複数箇所で検温等受付を設置したため、人員配置に非常に人工を割いた。飲食ができない代わりに子ども縁日を増設したことで、多くの子供を中心とした来場があったが、体育館内が密になるなど、列整理に問題が出た。	
26	佐鳴台地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	佐鳴台地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市佐鳴台地区はたちの集い 令和5年1月8日(日) 会場：ジ・オリエンタルテラス ザ・ギャラリー 参加者(20歳を迎える方)：78人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出事業の実施	行政	317,500	開催	5	4	5	5	4	中区	まちづくり推進課(佐鳴台協働センター)		事業縮小・内容変更	・交流会の中止 ・会場の規模の拡大(協働センターホールからジ・オリエンタルテラスに変更(継続)) ・国歌静聴 ・保護者席の中止	
27	佐鳴台協働センターふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	佐鳴台協働センターイベント実行委員会	今まで学習してきた成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して、住みやすいまちづくりのための機運を醸成し、生涯学習の推進を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポテトフライデー 令和4年5月13日(金) 参加者数約100人 ・協働センター草取り 令和4年6月4日(土)～7月16日(土) 令和4年10月1日(土)～10月14日(金) 参加者数約200人 ・佐鳴台協働センターまつり 令和4年10月15日(土) 令和4年10月16日(日) 参加者数約3000人 ・プロギングで婚活in佐鳴湖 参加者数24人 ・さなるもちつき大会(中止) ・凧揚げ大会 令和5年1月14日(土) 令和5年1月21日(土) 参加者数約100人 ・さなるふれあいコンサート 令和5年2月4日(土) 参加者数約100人 	地域に住む人々と住みやすいまちづくりのための機運を醸成し、生涯学習の推進を図る。	双方	事業の実施	負担金支出事業の実施	双方	404,097	開催	5	4	5	5	5	中区	まちづくり推進課		事業縮小・内容変更	<ul style="list-style-type: none"> ・協働センター草取りを一斉作業→分散型に変更 ・協働センターまつりでは飲食可能エリアを限定した。 ・もちつき大会を計画段階で中止し、凧揚げ大会を実施した。 	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考	
									相手方の役割	行政の役割															
28	協働センターを核とした地域課題解決事業 食を通じた地域活性化事業 (地域住民主体の活動への円滑な移行を目標とした「さなるだいにんぐ」の運営)	実行委員会	新規	さなるだいにんぐ実行委員会	地域住民主体の団体立ち上げを支援し、食を通じた多世代・多文化交流の場「さなるだいにんぐ」の実現を目指す。	食を通じた地域活性化事業(佐鳴台版子供食堂「さなるだいにんぐ」の運営) [活動場所] 佐鳴台協働センター [実施時期] R4.5~R5.3 月1回開催 [参加人数] 延べ762人	地域住民からの提案で「佐鳴台子ども食堂」を令和3年10月から令和4年3月まで月に1回のペースでセンターイベント事業として開催した。令和4年度以降この取り組みを継続するため、地域住民と協働することとなった。	双方	事業の実施	負担金支出事業の実施	行政	401,429	開催	5	3	4	4	4	中区	まちづくり推進課		事業縮小・内容変更	R4.5~R4.12まではイートイン方式ではなく、テイクアウト方式で提供した。		
29	西・県居地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	西・県居地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市西・県居地区はたちの集い 日時：令和5年1月8日(日) 出席者(新成人)：112人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	・式典の各所担当(受付、開会挨拶、司会、決意のことば等) ・会計監査	・開催場所の調整 ・式典の流れ作成 ・出席者の調整(来賓含む) ・運営に係る物品調達	行政	302,691	開催	5	5	5	5	4	中区	まちづくり推進課(県居協働センター)		事業縮小・内容変更	①飲食を伴う交流会の取りやめ ②国歌斉唱を国歌静聴に変更 ③出席者(来賓)の縮小 ④保護者席中止		
30	県居協働センターふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	県居協働センターイベント事業実行委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図る。	・県居協働センタードッジボール大会 令和4年10月9日(日) 参加人数：89人 ・県居協働センターまつり 令和4年10月16日(日) 参加人数：780人 ・一斉草刈 令和4年5月22日(日)、9月25日(日) 参加人数：59人、91人 ・施設清掃活動 令和4年11月27日(日) 参加人数：75人 ・クリスマス会 令和4年12月10日(土) 参加人数：50人 ・なのはなコンサート 令和5年3月12日(日) 参加人数：100人	不明	行政	・企画立案や実施可否の判断 ・催しの中での挨拶(委員長挨拶) ・会計監査	・開催場所の提供 ・実施に向けての調整(運営全般)	双方	384,310	開催	5	5	4	4	4	4	中区	まちづくり推進課(県居協働センター)		事業縮小・内容変更	・協働センターまつりにおいて、食べ物の取扱いを中止した。 ・今まで飲食販売を行っていた小学校PTAについては、出店での協力ではなく新たにドッジボール大会を企画し、そちらの大会運営に携わっていただくこととした。	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウィルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
31	アクト地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	アクト地区はたちの集い実行委員会（アクト地区自治会連合会、木戸町自治会、新津町自治会、茄子町自治会、細島町自治会、地域団体代表者、20歳実行委員）	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	アクト地区はたちの集いの開催日時：令和5年1月8日（日）会場：クリエート浜松2階ホール参加者（20歳を迎える人）：101人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出事業の実施	行政	282,087	開催	4	4	4	4	4	中区	まちづくり推進課（中部協働センター）		事業縮小・内容変更	・交流会を中止し、時間の短縮を図った。 ・会場レイアウト・受付事務の変更、参加席の間隔を空け、換気・検温・消毒を徹底して行った。 ・国家静聴 ・保護者席の中止	
32	中部協働センター地域ふれあい事業	実行委員会	継続	クリエート浜松イベント事業実行委員会（中央地区自治会連合会、アクト地区自治会連合会、北地区自治会連合会）	地域において、学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため。	○クリエートの夏まつり 令和4年8月21日（日）11～17時 ダンス、物販、子ども遊びコーナー等 来場者：約1,500人 ○オータムコンサート 令和4年11月27日（日）14～16時 ○親子で楽しむクリスマス 令和4年12月18日（日）14～15時 音楽物語「眠れる森の美女」 ○クリエートの冬まつり 令和5年1月20日（金）～22日（日）10～16時 演芸発表、作品展示、物販、鉄道模型展示、バザー、子ども体験コーナー等 来場者：5,200人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出事業の実施	行政	1,179,549	開催	5	4	4	5	4	中区	まちづくり推進課（中部協働センター）		事業縮小・内容変更	・夏・冬まつりの飲食及び冬まつりの餅投げを企画の段階で中止した。 ・夏まつりは来場者受付を実施	
33	浜松市東区俳句の里づくり事業	実行委員会	継続	浜松市東区俳句の里づくり事業実行委員会	東区は、多くの俳人が誕生し、句碑も多く現存している。また、多くの区民が俳句を楽しんでいるなど、俳句に縁が深い地域である。そこで、東区を「俳句の里」と位置づけ、「十湖賞」俳句大会などの各種俳句関連事業の実施により、歴史と文化が香る地域づくりを推進するもの。	「俳句の里づくり事業」として年間を通して各種事業を展開。 ■【小中俳句講座】 内容：東区内の小中高生を対象にした俳句講座 実施時期：令和4年6月20～9月8日 受講実績：16校64クラス 2,078人 ■【第十五回十湖賞俳句大会】 内容：東区出身の俳人 松島十湖の名を冠した俳句大会 投句者数：6,787人、投句数11,833句 表彰式：令和5年2月11日（土・祝） 会場：浜松市総合産業展示館	不明	不明	企画・運営・事業実施	事務局 企画・運営・事業実施	行政	3,542,990	開催	5	4	4	4	4	東区	区振興課		その他	有観客でのイベント開催はなしとした。	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
34	和田・中ノ町地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	和田地区自治会連合会、中ノ町地区自治会連合会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため	天竜協働センター付設体育館にて20歳の節目を祝う式典を開催するもの ・はたちの集い(1月8日) 参加者数192人(20歳を迎える者173人、来賓19人)	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施	行政	事業の実施	事業の実施、負担金支出	行政	666,191	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(天竜協働センター)		事業縮小・内容変更	・交流会の中止(クラスごとの記念撮影等は実施) ・入場者制限(保護者観覧席の廃止)	
35	天竜協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	和田地区自治会連合会、中ノ町地区自治会連合会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図る	地域ふれあいフェスタ事業として次の内容を実施 ・天竜協働センターまつり(11月6日) 参加者数1,172人 ・天竜協働センター美化活動(①6月10日～7月29日、②10月3日～10月31日) 参加者数延べ199人	地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのため	双方	事業の実施、負担金支出	事業の実施、負担金支出	双方	240,359	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(天竜協働センター)		事業縮小・内容変更	・会場の限定(屋外、体育館のみ) ・飲食物販売の取りやめ(持ち帰りあり)	
36	笠井地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	笠井地区はたちの集い実行委員会(笠井地区自治会連合会)	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	笠井協働センター付設体育館にてはたちの集いを実施。 令和5年1月8日/171人参加(20歳を迎えるもの123人、来賓44人、実行委員4人)	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	不明	事業の実施	事業の実施、負担金支出	行政	268,190	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(笠井協働センター)		事業縮小・内容変更	会場の変更(2Fホール→付設体育館) 交流会の中止	
37	笠井協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	笠井地区自治会連合会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図る	笠井協働センターほかにて次の内容を実施 ●笠井協働センターまつり 令和4年11月19日/11月20日 ●グランドゴルフ大会 令和5年1月21日/56人参加 ●協働センター美化活動 令和4年6月4日/約60人参加 令和4年10月15日/約60人参加	地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのため	不明	事業の実施、負担金支出	事業の実施、負担金支出	双方	361,162	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(笠井協働センター)		事業縮小・内容変更	協働センターまつりの実施時間短縮	
38	積志地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	積志地区自治会連合会	地域の人々の温かな祝福により、成人になったことの自覚と責任、社会貢献しようとする気持ちを持たせる。	サーラ音楽ホール(浜松市市民音楽ホール)にて成人式を実施。 令和5年1月8日/395人参加(新成人304人、来賓80人、実行委員11人)	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	事業の実施、負担金支出	行政	651,366	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(積志協働センター)		事業縮小・内容変更	当初予定をしていた交流会が中止。	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
39	積志協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	積志地区自治会連合会	これまで学習してきた成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して、住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図る	積志協働センターにて下記の内容を実施。 ●美化清掃事業 令和4年4月16日、6月4日、9月3日、10月15日/延べ321人参加 ●積志ふれあいコンサート 令和4年11月13日/延べ234人参加 動画160回再生 ●積志協働センターまつり 令和4年11月19日、20日/延べ732名参加	地域に住む人々と住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図る。	双方	事業の実施、負担金支出	事業の実施、負担金支出	双方	610,491	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(積志協働センター)		事業縮小・内容変更	模擬店の中止によるまつりの規模縮小	
40	長上地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	長上地区はたちの集い実行委員会(長上地区自治会連合会)	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。 令和5年1月8日(日)産業展示館北館1号ホール参加者177人、来賓3人、実行委員6人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	不明	事業の実施	事業の実施、負担金支出	行政	437,026	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(長上協働センター)		事業縮小・内容変更	式典内容の変更(恩師への花束贈呈中止)交流会中止招待恩師の縮小	
41	長上協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	長上地区自治会連合会	今まで学習してきた成果を発表する場づくりや、地域に住む人と協働して、住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図ることを目的とする。	長上協働センターにて下記の内容を実施。 ●地域ふれあい卓球大会 令和4年8月7日/延べ74人参加 ●長上協働センターまつり 令和4年11月12日、13日/延べ554人参加 ●地域ふれあい清掃 令和4年12月10日/延べ116名参加 ●地域ふれあいバドミントン大会 令和5年2月12日/延べ48人参加	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため	不明	事業の実施、負担金支出	事業の実施、負担金支出	行政	399,520	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(長上協働センター)		事業縮小・内容変更	飲食物販売中止	
42	蒲協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	蒲地区自治会連合会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図ることを目的とする。	蒲協働センターにて下記の内容を実施。 ●蒲協働センターまつり ●劇団たんぽぽ公演 令和4年8月3日/60人参加 ●親子ミニ四駆講座 令和4年8月6日 ●子ども食堂 令和4年8月23日 ●協働センター内美化活動 令和4年6月1日～令和4年6月15日、令和4年9月3日～9月17日/延べ144人参加	地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのため	双方	事業の実施、負担金支出	事業の実施、負担金支出	双方	437,064	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(蒲協働センター)		事業縮小・内容変更	・蒲協働センターまつり飲食禁止 ・環境美化活動(草取り)を例年の一斉実施から日程を広くとり、密を避け実施	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
43	蒲・佐藤小地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	蒲・佐藤小地区はたちの集い実行委員会(蒲地区自治会連合会、江東地区自治会連合会)	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	サーラプラザ浜松にてはたちの集い及び撮影会を実施。 令和5年1月8日/192人参加 (新成人163人、来賓7人、委員22人)	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施、 事業の実施、負担金支出	行政	434,559	開催	5	5	4	5	5	東区	区民生活課(蒲協働センター)		事業縮小・内容変更	・密をさけるため会場内を広く使用。そのため、小学生時恩師に遠慮していただいて中学生時の恩師のみ招待して父母席も設けなかった。 ・茶話会中止として式終了後、40分程度の撮影会を行った。		
44	庄内地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	庄内地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年庄内地区はたちの集いを開催する。 令和5年1月8日(日) 10:00~11:45 式典・交流会 参加人数 新成人69名 来賓14名	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	行政	159,750	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(庄内協働センター)		事業縮小・内容変更	・会場変更(ホール⇒体育館) ・受付方法の変更(観覧希望の保護者用受付を設置し連絡先を記名) ・交流内容の変更(茶話会(飲食有り)⇒個別の写真撮影会(飲食無し))		
45	庄内地区地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	庄内協働センター地域ふれあい事業実行委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため。	コロナの影響により例年予定イベントの内、以下のみ実施。 11月14日(土) 庄内ウォーキング 10:00~11:30 参加人数 33人 12月10日(土) ふれあいクリスマスコンサート 14:00~16:00 参加人数 130名(予約制) 2月19日(日) 協働センターまつり 来場者479名	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、実行委員会形式で実施。	双方	事業の実施	双方	255,429	開催	5	4	4	5	5	西区	まちづくり推進課(庄内協働センター)		事業縮小・内容変更	例年は4イベント計画するところ、夏まつりを中止し、3件のみとなった。		
46	2022はまなこ夏フェスタ開催事業	実行委員会	継続	はまなこ夏フェスタ実行委員会	浜松市西区南浜名湖の観光資源の活用や地場産品を広くPRし、地域の観光振興と活性化を図る	【第1弾】 日時：令和4年7月17日(日)9時~15時 ・体験型イベント(海の安全生き物教室、古代丸木舟乗船体験、貝殻アートワークショップ、サップヨガ 外) ・ビーチスポーツ大会(ビーチサッカー、ビーチバレー、青空フィットネス、ラッキーボール投げ 外) 【第2弾】 日時：令和4年8月20日(土)9時30分~15時 ・ビーチスポーツ大会	区内の観光資源を活用した地域振興を目的として地域の要望で始まった経緯があり、地域住民が主体的に実施していく事業であるため	双方	企画・運営	双方	2,000,000	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課		影響なし	はまなこ夏フェスタ事業に関する協定書		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
47	第20回浜名湖うなぎまつり開催事業	実行委員会	継続	浜名商工会浜名湖うなぎまつり実行委員会	浜松地域の資源である浜名湖ブランドの「うなぎ」を広くPRし、停滞傾向にある「うなぎ」の消費拡大を行うと共に、「うなぎ」の資源保護や食文化の保護の意識向上、及び浜名湖地域の特産品のPRと地域経済の活性化を図る。	日時：令和4年11月6日(日) 9時30分～15時30分 会場：浜名湖ガーデンパーク 来場者：17,487人 内容：浜名湖ブランドの「うなぎ」を広くPRとともに西区地場産品を販売する大物産展も実施	西区内の重要産業であるうなぎについて、うなぎを取り巻く環境が厳しいため、市としてもうなぎの食文化と資源保護PRを推進していく必要があるため。	双方	企画・運営	運営の助言、負担金支出	双方	3,960,000	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課		影響なし	浜名湖うなぎまつり事業に関する協定書	
48	雄踏地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	雄踏地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年雄踏地区はたちの集いの開催 開催日時 令和5年1月8日(日) 9:30～10:30 式典 会場 THE HAMANAKO 2階シリウス 参加者 20歳を迎える者111人 来賓22人 実行委員8人 (20歳を迎える者除く) その他7人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業に必要な役務の提供	事務局、実行委員会の文書事務及び会計事務	双方	403,391	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(雄踏協働センター)		事業縮小・内容変更	・式典の内容を見直すことにより、時間を短縮した。 ・アトラクションを取りやめた。	令和5年浜松市雄踏地区はたちの集いの開催に関する協定書
49	伊佐見地区地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	伊佐見地区地域ふれあいフェスタ事業実行委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため。	・伊佐見ふれあい水車小屋コンサート 10月2日(日) 9:00～12:30 ・協働センターまつり 11月6日(日) 9:00～15:00	地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりを進めるため。	行政	負担金の支出・事業実施	負担金の支出・事業実施・事務局	双方	374,968	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(伊佐見協働センター)		事業縮小・内容変更	協働センターまつりにおける飲食物の取り扱いを概ね見合わせた。	
50	伊佐見・和地地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	伊佐見・和地地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年伊佐見・和地地区はたちの集いを開催する。 令和5年1月8日(日) 10:00～12:00 式典・交流会 参加人数 新成人225名 来賓14名	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業実施	負担金の支出・事業実施・事務局	行政	485,500	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(伊佐見協働センター)		事業縮小・内容変更	・交流会における飲食の中止 ・介助者以外の保護者の入場を不可とした。 ・交流会は着席のまま進行 ・席を離れる集合写真撮影を最後に実施 ・体育館内全体に新成人席を配置	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
51	篠原地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	篠原地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げる	令和5年篠原地区はたちの集いの開催 開催日時 令和5年1月8日(日) 13:00～15:00 式典・交流会 会場 篠原協働センター体育館 参加者 161人 内訳 20歳を迎える者 139人 来賓 2人 恩師14人 実行委員 6人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施	行政	事業の実施	負担金の支出及び事業実施・支援	双方	340,415	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(篠原協働センター)		事業縮小・内容変更	・来賓減少 ・会場配置 ・家族等の入場制限 ・交流会の内容変更	令和5年浜松市篠原地区はたちの集いの開催に関する協定書
52	篠原協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	篠原協働センター地域ふれあい事業実行委員会	学習成果を発表する場づくりや地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図ること	・篠原協働センター清掃活動 令和4年6月4日・10月29日(土) 8:30～9:30 延べ129人 ・さざんかコンサート 令和4年9月25日(日) 12:00～15:30 9団体97人 ・篠原協働センターまつり 令和4年11月12日(土) 12:00～15:30 作品展示・ポッチャ大会 令和4年11月13日(日) 9:30～14:00 作品展示・芸能発表・子どもイベント	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金の支出及び事業実施・支援	双方	489,928	開催	5	5	5	4	5	西区	まちづくり推進課(篠原協働センター)		事業縮小・内容変更	・会場配置 ・開催内容の変更 ・来場者の確認 ・開催時間の短縮	令和5年浜松市篠原地域ふれあいフェスタ事業に関する協定書
53	神久呂協働センター地域ふれあい事業	実行委員会	継続	神久呂協働センター地域ふれあい事業実行委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための機運を醸成し、生涯学習の推進を図る	神久呂協働センター地域でイベントを開催し、地域の交流と文化発信等を行う 10月 花いっぱい運動 11月 神久呂協働センターまつり 11月 花と感謝の宅配便 11月～3月 展示発表会	地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりを進めるため。	行政	負担金の支出・事業実施	負担金の支出・事業実施・事務局	双方	355,714	開催	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(神久呂協働センター)		事業縮小・内容変更	・ふれあいコンサートの廃止 ・内容の規模縮小 ・参加者の体調確認・検温、消毒 ・開催時間の短縮		
54	神久呂地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	神久呂地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年神久呂地区はたちの集いの開催 開催日時 令和5年1月8日(日) 10:00～11:00 会場 神久呂協働センター体育館 参加者 88人 内訳 新20歳 76人 来賓 9人 実行委員 3人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	負担金の支出・事業実施	負担金の支出・事業実施・事務局	双方	254,500		5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(神久呂協働センター)		事業縮小・内容変更	会場レイアウトの変更や実行委員の参列縮小		
55	入野地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	入野地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げる	令和5年入野地区はたちの集いの開催 開催日時 令和5年1月8日(日) 式典10時～11時 協働センター体育館 参加者277人 内訳 20歳を迎える者235人 来賓10人 恩師19人 実行委員13人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施	行政	負担金の支出・事業実施	負担金の支出・事業実施・事務局	双方	475,616	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(入野協働センター)		事業縮小・内容変更	・式典時間短縮 ・来賓減少 ・家族等入場不可 ・交流会中止	令和5年浜松市入野地区はたちの集いの開催に関する協定書

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウィルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
56	入野協働センター地域ふれあい事業	実行委員会	継続	入野協働センター地域ふれあい事業実行委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため。	8月 入野地区ふるさと夏まつり(中止) 11月 入野協働センターまつり 11月26日13:00~16:00 11月27日9:30~12:30 参加者 約800名	地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりを進めるため。	行政	負担金の支出・事業実施	負担金の支出・事業実施・事務局	双方	192,299	開催	5	5	5	5	5	西区	まちづくり推進課(入野協働センター)		事業縮小・内容変更	・ふるさと夏まつり(中止) ・開催時間の短縮 ・飲食の制限 ・中学生ボランティアの活動制限	
57	舞阪地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	舞阪地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	舞阪地区はたちの集い 日時 令和5年1月8日(日) 受付 12時30分 式典 13時00分 会場 舞阪協働センター ホール はたち参加者 85人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	相手	事業の実施	負担金の支出及び事務局としての事務	行政	227,844	開催	5	4	5	5	5	西区	舞阪協働センター		影響なし		
58	おいしい舞阪まるごと体験フェア開催事業	実行委員会	継続	おいしい舞阪まるごと体験フェア実行委員会	舞阪地区の冬の味覚や地場産品のPRと地産地消を推進し産業の振興を図る。	日時 令和5年2月4日(土) 場所 浜名湖ガーデンパーク 内容 ・冬の味覚を体験できるイベント(牡蠣むき体験等) ・水産物及び浜名湖周辺の地場産品の販売 入場者 約8,000人	市と地元漁業者、水産加工業者、商業者が産業振興と地域活性化という同じ目的のため協働して事業実施している。	相手	事業の実施	負担金の支出	双方	3,500,000	開催	5	5	5	5	5	西区	舞阪協働センター		影響なし		
59	舞阪えんばい朝市開催事業	実行委員会	継続	舞阪えんばい朝市実行委員会	春から秋にかけての海産物の販売を通じて地域の活性化を図る。	日時 令和4年6月18日(土) 令和4年9月17日(土) 場所 弁天島海浜公園 内容 ・水産物及び浜名湖周辺の地場産品の販売 出店者数 各回24店舗 入場者 2,778人	市と水産加工業者、地元漁業者、商業者が産業振興と地域活性化という同じ目的のため協働して事業実施している。	相手	事業の実施	負担金の支出	双方	1,000,000	開催	5	5	5	5	5	西区	舞阪協働センター		事業縮小・内容変更	生しらすの販売中止	
60	芳川・河輪地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	芳川地区自治会連合会 河輪地区自治会連合会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	芳川・河輪地区はたちの集い 令和5年1月8日 受付開始9時30分 式典開始10時00分 会場：南陽協働センター 体育館 参加者258人(20歳を迎える人)	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	双方	事業の実施	負担金の支出・事業の実施・事務局	行政	620,677	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(南陽協働センター)		事業縮小・内容変更	国歌斉唱を静聴に変更 来賓、招待者の人数縮小 感染対策(消毒、検温、来場者記録等) 式典後の交流会を、飲食不可として実施	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
61	南陽協働センター地域ふれあい事業	実行委員会	継続	南陽協働センター活動推進委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため	①協働センターまつり 令和4年9月25日 芸能発表、作品展示 来場者：637人 ②春よこいこいコンサート 令和5年1月28日 演奏家を招いたコンサート 来場者：52人 ③町別対抗男女混合バレーボール大会 令和5年3月5日 参加チーム：8チーム 参加人数：106人	地域に存在する自治会、地区社会福祉協議会、小・中学校、体育協会等の協力を仰ぎ事業を円滑かつ効率的に推進するため	双方	負担金の支出・事業の実施	負担金の支出・事業の実施・事務局	双方	358,888	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(南陽協働センター)		事業縮小・内容変更	協働センターまつりにおける模擬店及びバザーの中止、飲食行為の自粛	
62	新津地区はたちの集い	実行委員会	継続	新津地区自治会連合会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	新津地区はたちの集い 令和5年1月8日 受付開始9時30分 式典開始10時00分 会場：新津協働センター 体育館 参加者96人(20歳を迎える者)	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施	行政	負担金の支出・事業の企画運営	負担金の支出・事業の実施・事務局の設置	双方	198,085	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(新津協働センター)		事業縮小・内容変更	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場を新津協働センター附設体育館にて実施した。交流会の時間を短縮した。	
63	新津協働センター地域ふれあい事業	実行委員会	継続	新津地区自治会連合会	学習してきた成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して、住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図る	(1)「好きです新津」ふれあいフェスタ 令和4年6月19日(日) 内容：音楽フェスティバル、輪投げ大会 (2)新津協働センター大掃除 令和4年10月29日(土) 内容：地域活動団体による協働センターの掃除 (3)新津協働センターまつり 令和4年11月20日(日) 内容：地域活動団体による学習成果の発表など	地域活動団体の学習成果の場を提供するとともに地域住民が参加しやすいイベントにするため自治会及び各種団体の協力を仰ぎ円滑に事業を推進するため	行政	負担金の支出・事業の企画運営	負担金の支出・事業の実施・事務局の設置	行政	356,250	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(新津協働センター)	来場者アンケート実施	事業縮小・内容変更	協働センターまつりは、体育館での作品展示と芸能発表のみで規模縮小とした。	
64	駅南・白脇地区成人式開催事業	実行委員会	継続	駅南地区自治会連合会 白脇地区自治会連合会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	はたちの集い 令和5年1月8日(日) 会場：アクロシティ浜松 参加者：183人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出事業の実施	行政	457,569	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(白脇協働センター)		事業縮小・内容変更	式典後の交流会を、飲食不可として実施した。	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
65	白脇協働センター地域ふれあい事業	実行委員会	継続	白脇地区自治会連合会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図る	協働センター大掃除 令和4年11月12日 白脇まつり 令和4年11月13日 茶間屋ショーゴ 令和5年3月4日	地域団体や地域住民と協働することにより事業を効率的に進めることができる。	行政	負担金支出事業の実施	負担金支出事業の実施	行政	310,890	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(白脇協働センター)		事業縮小・内容変更	一部事業中止(ふれあいコンサート)、白脇まつりは体育館での作品展示と芸能発表のみの規模縮小開催。	
66	江南地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	五島地区自治会連合会 砂丘自治会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	江南地区はたちの集い 令和5年1月8日 受付開始9時30分 愛付開始10時00分 式典開始10時00分 会場：五島協働センター体育館 参加者43人(20歳を迎える人)	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金の支出・事業の実施・事務局	行政	190,031	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(五島協働センター)		事業縮小・内容変更	会場をホールから体育館に変更 国歌斉唱を静聴に変更 交流会を75分から45分に変更 感染対策(消毒、検温、来場者記録)	令和5年度浜松市江南地区はたちの集い開催に関する協定書に基づく事業
67	五島協働センター地域ふれあい事業	実行委員会	継続	五島地区自治会連合会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため	1 五島協働センターまつり、天文台まつり 令和4年12月10日(土)、11日(日) 地域活動団体による芸能発表及び地域団体の作品展示等 2 五島協働センター大掃除 令和4年12月3日(土) 地域活動団体による協働センターまつり準備及び清掃 3 ふれあいコンサート 令和5年3月12日(日) 音楽フェスティバル 4 ハッピー浜特マーケット 令和4年11月12日(土) 浜松特別支援学校による作業製品展示兼販売会	行政と地域が協働することで学習成果を発表する場づくりや、地域住民が触れ合う場を提供し、事業を円滑に推進するため	行政	負担金の支出、事業の企画・運営	負担金の支出、事業の実施、事務局	双方	262,395	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(五島協働センター)		事業縮小・内容変更	受付方法変更による来場者把握、協働センターまつりにおける模擬店・飲食の自粛、一部事業中止(シニアクラブ輪投げ大会、第2回ハッピー浜特マーケット)	令和4年度五島協働センター地域ふれあい事業に関する協定書に基づく事業
68	可美地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	可美地区自治会連合会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	可美地区はたちの集い 令和5年1月8日(日) 受付開始9時30分 式典開始10時00分 会場：可美公園ホール 参加者：93人(20歳を迎えるもの)、他107人参加(家族、ボランティア等)	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	負担金の支出、事業の実施	負担金の支出、事業の実施、事務局	双方	211,674	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(可美協働センター)		事業縮小・内容変更	国歌の斉唱を演奏に変更、受付方法の変更等により感染リスクを抑えた	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性透視性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウィルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
69	可美協働センター地域ふれあい事業	実行委員会	継続	可美地区自治会連合会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため	可美地区花いっぱい運動、可美グランドゴルフ大会、可美協働センターまつり、サイコロダーツ普及交流事業、緑の体験活動、ももの里コンサート延1,526人参加	地域と連携することにより、学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々が住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図るため協働するもの	行政	負担金の支出、事業の実施、事務局	双方	291,285	開催	5	5	5	5	5	南区	区民生活課(可美協働センター)		事業縮小・内容変更	受付方法の変更、イベントの縮小や事業計画からの削除により感染リスクを抑えた		
70	北区Deまつり2023	実行委員会	継続	北区Deまつり実行委員会	北区内の一体感の醸成と北区の魅力発信 集客目標10千人	・物産展による北区の特産品の発信 ・ステージイベントによる北区の市民活動や芸能等の発信 ・企画展示による区内の市民活動団体等の活動啓発	旧浜松市地域と旧引佐郡地域からなる北区にとって、区民の一体感の醸成が急務であったことから、各地域のまちづくり協議会を中心に企画・運営するイベントが必要であった。	行政	企画・運営	行政	5,578,067	開催	5	5	4	5	5	北区	区振興課		事業縮小・内容変更	・実施会場の見直し ・規模の縮小		
71	都田・新都田地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	都田・新都田地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする機運を一層盛り上げるため。	開催日：令和5年1月8日(日) 会場：サラー音楽ホール 第一部 式典 第二部 交流会 参加者 86名	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	双方	企画・運営	行政	359,830	開催	5	4	4	4	4	北区	まちづくり推進課(都田協働センター)		影響なし			
72	都田協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	都田協働センターまつり実行委員会	地域において、学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図ることを目的とする。	・グラウンドゴルフ大会 開催日：令和4年11月3日(木・祝) 会場：都田小学校グラウンド 参加者：30名 ・附設体育館周辺草刈り・清掃 開催日：令和4年12月3日(土) 会場：都田協働センター附設体育館 参加者：32名 ・都田協働センターまつり 開催日：令和5年1月29日(日) 会場：都田協働センター附設体育館	地域活動団体の積極的な参加により、団体同時の横のつながりができた。	双方	企画・運営、負担金支出	双方	264,690	開催	5	4	4	4	4	北区	まちづくり推進課(都田協働センター)		事業縮小・内容変更	シニア輪投げ大会(9月)開催を中止		
73	第70回浜松市姫様道中	実行委員会	継続	浜松市姫様道中実行委員会	姫街道の歴史・文化を継承していくとともに、市民協働による地域づくりに寄与することを目的とする。	姫様道中の開催 日時：令和5年3月25日(土) 会場：都田川桜堤ほか 内容：姫様の行列を再現 入込客数：約8,000人	地元自治会や青年団などが地域のお祭りをまとめ、住民が楽しめるお祭りとして実施	双方	企画・運営、広報、会計処理	双方	6,800,000	開催	4	4	3	4	4	北区	まちづくり推進課	住民及び参加者へのアンケートの実施	事業縮小・内容変更	物産展の中止		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
74	三方原地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	三方原地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	三方原地区成人式 開催日：令和5年1月8日（日） 会場：浜松市教育会館 参加者：148人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	企画・運営	企画・運営、負担金支出	行政	370,689	開催	5	5	5	4	4	北区	まちづくり推進課（三方原協働センター）		事業縮小・内容変更	・来賓の縮小 ・成人の親族等の会場への参加中止 ・式典の時間短縮	
75	細江地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	細江地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	○細江地区はたちの集い 開催日：令和5年1月8日（日） 会場：みをつくし文化センター 参加者：167人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	企画・運営	企画・運営、負担金支出	行政	352,014	開催	5	4	4	4	4	北区	まちづくり推進課		事業縮小・内容変更	・来賓の縮小 ・親族の会場への参加制限 ・式典の時間短縮	
76	第34回浜松市いなさ人形劇まつり	実行委員会	継続	浜松市いなさ人形劇まつり実行委員会	家族のふれあいの場の提供、情操豊かな子供の育成を目指す「浜松市いなさ人形劇まつり」の実施	令和4年11月12日、13日 引佐協働センター他 公演延数27公演、（プロ24公演、アマ3公演）、野外ステージ公演、アーカイブ配信 等	「浜松市いなさ人形劇まつり実行委員会」は、地域で継続して実施してきた人形劇まつりを地域が主体となり、地域ぐるみで企画、運営している。	不明	事業の実施	負担金の支出、運営の助言	双方	6,000,000	開催	5	3	3	5	5	北区	引佐協働センター		事業縮小・内容変更	令和2年、3年は無観客でまつりを開催し、公演をYouTube配信した。令和4年は人数を制限する有観客開催で、アーカイブ配信（録画配信）も行った。	
77	引佐地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	引佐地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため	令和5年1月8日（日） 引佐多目的研修センター 参加者：113人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施	不明	企画・運営	企画・運営、負担金支出	行政	273,691	開催	5	4	5	4	4	北区	引佐協働センター		事業縮小・内容変更	第2部の催しを変更した（抽選会、恩師からの激励のこたば）	令和5年浜松市引佐地区はたちの集いの開催に関する協定書
78	引佐協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	引佐協働センター地域ふれあいフェスタ実行委員会	学習成果の発表、住みやすいまちづくりの気運の醸成、生涯学習の推進を目指す「引佐文化祭」の実施	令和4年11月5日、6日 引佐多目的研修センター 出演・出演者：171人 延べ来場者：316人	「地域ふれあいフェスタ実行委員会」は地域で継続的に実施してきたイベントであり、地域が主体となり、地域ぐるみで企画、運営している。	不明	企画・運営	企画・運営、負担金支出	行政	249,340	開催	4	5	5	4	5	北区	引佐協働センター		事業縮小・内容変更	令和2年度は中止、令和3年度は出店者のみで開催した。令和4年度は感染対策を徹底し有観客で開催した。	令和4年度引佐協働センター地域ふれあいフェスタ事業に関する協定書

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
79	三ヶ日地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	三ヶ日地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市三ヶ日地区はたちの集い 令和5年1月8日(日) 会場：三ヶ日文化ホール 参加者(20歳を迎える方)：105人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出 事業の実施	行政	257,372	開催	5	4	5	5	4	北区	三ヶ日協働センター		事業縮小・内容変更	・国歌斉唱を国歌静聴に変更 ・椅子の並び方等のソーシャルディスタンスの確保	
80	浜名地区はたちの集い開催事業	実行委員会	新規	浜名地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	浜名地区はたちの集い 開催日：令和5年1月8日(日) 会場：浜北文化センター 参加者：197人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	企画・運営	企画・運営 負担金支出	行政	511,274	開催	5	5	5	5	4	浜北区	まちづくり推進課(浜名協働センター)		影響なし		
81	地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	浜名協働センター地域ふれあいフェスタ実行委員会	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図ることを目的とする。	協働センターまつり 令和4年12月10日(土)・11日(日)	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成27年から実行委員会を立ち上げ、地域の団体等と市と協働し負担金方式により実施。	行政	企画・運営 負担金支出	企画・運営 負担金支出	行政	187,227	開催	5	5	5	5	5	浜北区	まちづくり推進課(浜名協働センター)		影響なし		
82	鹿玉地区はたちの集い開催事業	実行委員会	新規	鹿玉地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市鹿玉地区はたちの集い 開催日：令和5年1月8日(日) 会場：はまきたプラザホテル2階飛鳥の間 出席者(はたちの方)：96名	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	269,419	開催	5	4	4	4	4	浜北区	まちづくり推進課(鹿玉協働センター)		その他	交流会は、飲食を禁止し、クラスごとの記念撮影会とした。	
83	鹿玉協働センター地域ふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	鹿玉協働センター地域ふれあいフェスタ実行委員会	地域において、学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を醸成し、生涯学習の推進を図る。	鹿玉協働センターまつり 令和4年11月19日(土)11月20日(日) に、センターで活動する「演目発表」及び「作品展示」を行う。	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	219,901	開催	5	4	4	4	4	浜北区	まちづくり推進課(鹿玉協働センター)		事業縮小・内容変更	露店飲食の販売等を中止し敷地内での飲食を禁止した。	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考	
									相手方の役割	行政の役割															
84	赤佐・中瀬地区はたちの集い開催事業	実行委員会	新規	赤佐・中瀬地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	令和5年浜松市赤佐・中瀬地区はたちの集い 開催日：令和5年1月8日(日) 会場：はまきたプラザホテル2階飛鳥の間 出席者(はたちの方)：178人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。(浜北区は令和5年から)	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	435,272	開催	5	4	4	4	4	4	浜北区	まちづくり推進課中瀬協働センター		事業縮小・内容変更	交流会は飲食を禁止とし、クラス毎の記念撮影のみとした。	
85	中瀬協働センターふれあいフェスタ事業	実行委員会	継続	中瀬協働センター活動推進委員会 中瀬地区自治連 赤佐地区自治連	学習成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して住みやすいまちづくりのための気運を高め、生涯学習の推進を図る。	中瀬協働センターまつり 開催日：令和4年11月12日(土)・13日(日) 参加者：延べ875人	地域住民と協働することが事業目的を達成するための効果的な形態として、実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	224,741	開催	5	4	4	4	4	4	浜北区	まちづくり推進課中瀬協働センター		事業縮小・内容変更	施設内での飲食を禁止とした。	
86	令和5年北浜地区はたちの集い	実行委員会	新規	北浜地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする機運を一層盛り上げるため。	北浜地区(北浜中学校区及び北浜東部中学校区)在住者を中心に、20歳を迎える人を地域を上げて祝福するため、令和5年1月8日(日)に北浜文化センター大ホールにて開催。20歳を迎える当事者の参加者数328人。	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、今回から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	企画・運営	事務局	行政	729,998	開催	5	4	4	4	4	4	浜北区	まちづくり推進課北浜南部協働センター		その他	各種感染症対策の実施	
87	北浜南部協働センター地域ふれあいフェスタ事業(北浜南部協働センターまつり)	実行委員会	継続	北浜南部協働センター地域ふれあいフェスタ実行委員会	これまで学習してきた成果を発表する場づくりや、地域に住む人々と協働して、住みやすいまちづくりのための機運を醸成し、生涯学習の推進を図る。	「北浜南部協働センターまつり」として令和4年11月26日(土)・27日(日)に、センターで活動する団体による「演技発表」「作品展示」を行う。	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、実行委員会形式で実施。	行政	事業の実施	負担金支出及び事業の実施	行政	224,674	開催	5	4	4	4	4	4	浜北区	まちづくり推進課北浜南部協働センター		事業縮小・内容変更	バザー(模擬店)の中止	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウィルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
88	天竜区サイクリスト誘致事業	実行委員会	継続	天竜区サイクリスト誘致実行委員会	天竜区の自然景観等の魅力をPRするサイクルイベント等を実施し、交流人口の拡大を図る。	イベント「天竜サイクルツーリズム」の開催 駐輪スタンドの設置などの環境整備	H18市委託事業として開始 H25実行委員会を立ち上げ、地域主体による事業に切り替えた。	双方	企画・運営	事務局、運営の助言、負担金支出	行政	499,648	開催	5	5	5	5	4	天竜区	まちづくり推進課		影響なし		
89	天竜産業観光まつり	実行委員会	継続	天竜産業観光まつり実行委員会	天竜地域の歴史や文化などの魅力を発信し、交流人口の拡大、産業観光振興による地域活性化を図る。	天竜産業観光まつりの開催 令和4年11月3日 物産展(57店舗)、PRイベント等 参加者：8,300人	商工会や観光協会を中心とした地域団体や市民、行政による実行委員会により事業を実施	双方	企画・運営	運営補助、助言、負担金支出	双方	3,994,000	開催	5	5	4	5	4	天竜区	まちづくり推進課		影響なし		
90	天竜芸術祭芸能発表会	実行委員会	継続	天竜芸術祭芸能発表会実行委員会	天竜区民による芸能発表会を開催し、区民の文化振興の向上を図ることを目的とする	天竜芸術祭芸能発表会の開催 日時：例年10月末日(日)9:30～16:30 会場：天竜壬生ホール 内容：天竜地域に在住在勤在学又は天竜地域内の文化団体に所属する市民を対象とした舞台芸術の発表会 【R4の実績】 令和4年10月30日(日) 出演：18団体(205人) 入場者：のべ632人	市が事務局となり、芸能発表等に精通している市民が協働で芸能発表会を開催することにより、円滑でレベルの高い運営や多くの市民に認知される事業となるため	不明	企画・運営	事務局、負担金支出	双方	635,000	開催	5	5	4	4	5	天竜区	まちづくり推進課		事業縮小・内容変更	・出演団体数：20団体上限として募集。希望した20団体のうち、2団体が辞退 ・ホールの入場制限(上限237人) ・例年行っていた演目終了後の抽選会の中止	地域力向上事業
91	天竜芸術祭美術展	実行委員会	継続	天竜芸術祭美術展実行委員会	天竜区民に芸術創作の発表及び鑑賞の機会を提供し、天竜区内の芸術文化の振興を目的とする。	天竜芸術祭美術展の開催 内容：天竜区内に在住在勤在学、又は天竜区内の文化団体に所属する市民を出品対象とした美術展の開催 【R4(第18回)の実績】 令和4年11月23日(水・祝)～11月26日(土) 会場：二俣協働センター 出品点数：184点 入場者数：570名	市が事務局となることで、会員が高齢化しつつある文化協会の事務の負担が軽減されるため。	双方	企画・運営	事務局、負担金支出	行政	850,000	開催	5	4	4	4	4	天竜区	まちづくり推進課		事業縮小・内容変更	地域力向上事業	
92	天竜文芸誌発行	実行委員会	継続	天竜区文芸誌発行事業実行委員会	天竜区文芸誌を天竜区民自らの手で企画し、発行することにより、天竜区の魅力ある個性的な文化の創造を図るとともに、天竜区民が芸術文化活動への理解を深め、芸術文化の分野において区の一体感を高めることを目的とする	『天竜文芸13号』の発行 発行日：12月21日 部数：500部 (図書館等関係機関へ配布187部、販売313部) 仕様：A5判 202頁+奥付 掲載点数：132点 編集会議数 4回	市が事務局となり、文芸作成に意欲のある市民と協働で発行事業に取り組むことで、多くの市民に認知される事業となるため	双方	企画・運営・編集	事務局、負担金支出	双方	356,536	開催	5	5	5	5	5	天竜区	まちづくり推進課		その他	編集会議におけるコロナ対策の実施(マスク着用、検温、手指消毒、換気、会議時間の短縮化)	地域力向上事業

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
93	天竜・龍山地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	天竜・龍山地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため	浜松市天竜・龍山地区はたちの集いの開催 開催日:令和5年1月8日(日) 会場:天竜壬生ホール 内容:第一部式典、第二部交流会 出席者:新成人130人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	行政	企画・運営	事務局、負担金支出	行政	341,500	開催	5	4	5	5	5	天竜区	まちづくり推進課・龍山協働センター		事業縮小・内容変更	・密にならない入退場方法、座席指定の実施 ・観覧席なし(保護者等の入場禁止) ・ライブ配信のを委託により実施 ・第2部交流会を中止し、記念撮影のみ実施	
94	すみれの里づくり事業	実行委員会	継続	春野ふるさと力向上委員会	「すみれの里・春野」のイメージ定着とともに、白井鐵造氏の功績を伝承し、この地域の魅力を広く地域内外へPRする。	すみれの里づくりに係る各種事業 ・シンボル花壇の管理(通年) ・中学校入学生へ花桃の苗贈呈(4月) ・白井鐵造取材対応等 ・宝塚歌劇団関係者との連絡調整	旧春野町時代から行政、地域住民、各種団体が一体となり、名誉市民である白井鐵造氏を軸とした宝塚歌劇団、宝塚市との交流など特色ある事業を展開してきているため。	双方	企画・運営	運営の助言、協力、負担金支出	双方	125,680	開催	5	5	4	5	5	天竜区	春野協働センター	地域力向上事業の事後評価において区行政推進会議、区協議会において評価	事業縮小・内容変更	一部事業中止 ・宝塚歌劇団との交流事業	
95	はるの産業まつり	実行委員会	継続	はるの産業まつり実行委員会	春野地域発展の基盤である産業振興を一層向上させるため、農林・水産・商工・観光等各部門の生産者、取扱業者及び関連諸団体が主体となり、それぞれ活力ある人づくりと地域産業育成の場とし、地域事業者等がテント村を一同に介し、それぞれの物産等を展示即売することにより、産業まつり以後の販路拡大を図るために開催されるイベントに係る事業費の補助を目的とする。	第47回はるの産業まつりの開催 日時:令和4年11月 場所:春野協働センター周辺 内容:地場産品の販売 ※コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、規模を縮小して実施。	実行委員会に行政が加わり、市民協働団体と企画・運営を行うことで、事業の目的を達成することに繋がると判断したため。	双方	企画・運営	運営の助言、協力、負担金支出	双方	3,443,000	開催	5	5	4	5	5	天竜区	春野協働センター	来場者、出展者にアンケートを実施	事業縮小・内容変更	・出展者の減少 ・来場者の減少 ・ステージ、子供の遊び場等の設置取り止め	
96	区内文化施設を活用した文化振興事業「春野文化講演会」	実行委員会	継続	春野ふるさと力向上委員会	文化センターにおいて、地域住民と協働して文化講演会等を開催し文化振興を図る。	文化講演会 日時:令和5年3月11日(土) 会場:春野文化センター 内容:小和田哲男講演会「三方ヶ原の戦い後の徳川家康-気田の戦いと大居城の天野氏-」 入場者数:204名	地域住民と協働で事業内容を検討し開催することにより、地域の文化事業への関心を高めるとともに、地域の方を中心に施設を日常的に利用していただけるきっかけにもなるため。	行政	企画・運営	運営の助言、協力、負担金支出	双方	655,000	開催	5	4	4	5	5	天竜区	春野協働センター	講演会来場者にアンケート実施	事業縮小・内容変更	1階の座席のみを使用し入場者数を制限した。そのために事前申し込み制で実施した。	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
97	春野青少年健全育成推進事業	実行委員会	継続	春野青少年健全育成推進事業実行委員会	青少年健全育成を推進するための各種事業の実施	○ふるさと青少年教室の開催 日時：令和4年6月～12月（開催回数：5回） 会場：春野文化センター他 内容：軽スポーツ教室、ものづくり教室などの体験活動を実施 参加者：20人（小4～小6） ○中高生ボランティア研修の実施 日時：令和4年7月～令和4年12月（実施日数：16日） 会場：春野文化センター、春野図書館他 内容：ふるさと青少年教室や図書館業務補助などのボランティア活動を実施 参加者：23人（中高生）	学校を始め、青少年の健全な育成に関わる団体・機関と、協働で事業を進めていくことにより、地域全体で子どもを育て見守っていくという環境を維持していくため。	行政	企画・運営	運営の助言、協力、負担金支出	行政	332,000	開催	5	4	4	5	5	天竜区	春野協働センター	参加した小学生・中高生にアンケート実施	事業縮小・内容変更	【ふるさと青少年教室】 ・8月のアドベンチャースクールin勝坂中止 ・12月のものづくり教室内容変更	
98	春野地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	春野地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の気持ちを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	日時：令和5年1月8日 会場：春野協働センター 新成人：23人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施	行政	企画・運営	運営の助言、協力、負担金支出	行政	109,000	開催	5	4	4	5	5	天竜区	春野協働センター	実行委員会委員より感想、意見、改善点などを聞き取り	事業縮小・内容変更	・参加者のマスク着用 ・式典後の交流会簡略化 ・中学生ボランティア参加を準備のみに限定	
99	佐久間地区はたちの集い開催事業	実行委員会	継続	佐久間地区はたちの集い実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	はたちの集い開催 日時：令和5年1月2日 会場：佐久間歴史と民話の郷会館 対象者：16名	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	双方	企画・運営	運営の助言、負担金の支出	行政	123,410	開催	5	5	5	5	4	天竜区	佐久間協働センター	はたちの集い対象者へのアンケート実施	影響なし		
100	さくま国際交流音楽指導講座	実行委員会	継続	さくま国際交流音楽指導講座実行委員会	元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団バストロンボーン奏者「カール・ヤイトラー」氏を招聘し、音楽に対するより深い理解と演奏技術の向上、国際感覚の醸成を目指す。	さくま国際交流音楽指導講座の開催 ○期間：令和4年9月29日～10月2日 ○会場：佐久間歴史と民話の郷会館他 ○内容 学校吹奏楽部指導 一般団体指導 学校訪問コンサート ウィーン交流コンサート	この事業の趣旨に賛同いただいている団体や地域で活動する音楽団体へ実行委員会を依頼することにより、事業目的を達成するために最も効率よく進めることができるため。	双方	企画・運営	運営の助言、負担金の支出	行政	2,266,800	開催	5	4	4	5	5	天竜区	佐久間協働センター	ウィーン交流コンサート開催時に来場者アンケート実施	影響なし		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかわる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
101	天竜区交流促進事業(フェスタさくま)	実行委員会	継続	フェスタさくま実行委員会	イベントを開催することで、集客による地域の活性化や産業振興の発展を目指す。	2022フェスタさくま開催 ○日時:令和4年10月13日(日) ○会場:佐久間歴史と民話の郷会館駐車場 ○内容:物産展、伝統芸能等ステージショー	産業の活性化を目指して始まったイベントであり、地域の商工・産業を担っている商工会が実行委員会となることで事業を効率的に行うことができるため。	双方	企画・運営	運営の助言、協力、負担金の支出	双方	2,005,000	開催	5	5	5	5	5	天竜区	佐久間協働センター	来場者・出店者へのアンケート実施	事業縮小・内容変更	・開催時間の短縮 ・ステージショーや物産店出店者の参加者数の削減 ・入場時など手指消毒・人件費など必要経費の増額	
102	蕎麦の里づくり事業(佐久間新そばまつり)	実行委員会	継続	佐久間新そばまつり実行委員会	・佐久間での蕎麦のイメージを高め、交流人口増加を促し、蕎麦の生産振興やそば打ちの普及などによる地産地消を推進する。 ・中山間地域と都市部との交流機会の提供機会を増やし、地域の活性化を図る。	第23回佐久間新そばまつり開催 ○日時:和5年1月21,22日(土・日) ○会場:旧佐久間協働センター駐車場及び歴史と民話の郷会館 ○内容:そばの味くらべ広場、そば打ち実演、物産展等	NPO法人ががんばらまいか佐久間で、そばの収穫や地域間交流に携わるようになった。佐久間のそばについて市と一体的、包括的に考えることができるようになったため。	双方	企画・運営	運営の助言、協力、負担金の支出	双方	1,101,000	開催	5	5	5	5	5	天竜区	佐久間協働センター	来場者・出店者へのアンケート実施	事業縮小・内容変更	・対面式となるそば打ち体験を中止 ・入場時など手指消毒・人件費など必要経費の増額	
103	自然との対話マップ作製事業	実行委員会	継続	自然との対話マップ作製実行委員会	・トレッキングやウォーキングコースなどの健康的な活動の提案をし、活動による健康増進と複線的な観光集客を図る。 ・観光人口増加による地域の活性化を図る。	○「さくまぐるりマップ」作成 ○ARをマップ上のコンテンツに連動させる。 ○紙媒体及びインターネットでの配布、配信	佐久間地域で合併前に作ったマップを、インターネットの普及した現代で活用できるよう、作成当時関わりがある観光協会を主とする実行委員会に依頼することで事業を効率よく進めることができるため。	双方	企画・運営	運営の助言、協力、負担金の支出	双方	2,300,000	開催	5	5	5	5	5	天竜区	佐久間協働センター		影響なし	影響なし	
104	天竜川とともに生きる文化伝承事業	実行委員会	継続	天竜川とともに生きる文化伝承事業実行委員会	天竜川をテーマに慣れ親しんだ天竜川を地域住民に意識してもらい、ほこりを育むとともに都市部住民が「水」を育む中山間地域を意識し、中山間地域住民との新たな交流や関わりを増大を図る。	○体感機会提供事業 「佐久間ダム竜神まつり」の開催 日時:令和4年10月30日(日) 会場:佐久間ダム湖岸広場 内容:竜神の舞披露、湖上打上花火、ダム堰堤内探検等 ○情報提供事業 天竜川にまつわる佐久間地域の行事や見所などを情報配信した。	佐久間ダム建設時の慰霊を行うために始まったダムまつりであるが、現在では佐久間ダムに興味のある人に向けた地域活性化の手段となっている。そのため、観光協会が主体となることで効率よく事業を進めることができる。	双方	企画・運営	運営の助言、協力、負担金の支出	双方	2,000,000	開催	5	5	5	5	5	天竜区	佐久間協働センター		事業縮小・内容変更	・シャトルバスの乗車人数を減員。それによる待ち時間の増加。 ・コロナ対策のための人員の増員等による必要経費の増額。	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考	
									相手方の役割	行政の役割															
105	水窪地区成人式開催事業	実行委員会	継続	水窪地区成人式実行委員会	地域の人々の温かな祝福により、20歳の節目に改めて大人としての責任を自覚し、社会に貢献しようとする気持ちや、郷土愛と周りの人々への感謝の思いを育むとともに、地域で青少年を健全に育てようとする気運を一層盛り上げるため。	成人式の開催 開催日：令和5年1月3日 会場：水窪文化会館 新成人：10名	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態として、平成13年から地域分散型による実行委員会形式で実施。	双方	企画・運営	運営の助言、負担金の支出に関する事	行政	110,742	開催	5	4	4	4	4	4	天竜区	水窪協働センター		事業縮小・内容変更	国歌を音源のみ。観覧を関係者のみ。	
106	講座等開催事業	実行委員会	継続	水窪文化会館生涯学習講演会実行委員会	水窪地区の生涯学習の向上を図るため。	サマーコンサートの開催 開催日：令和4年7月8日（金） 会場：水窪文化会館 内容：アンサンブルユニット・クオーレによる演奏会 来場者：150人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態であり、住民の望む内容に対応できる。	双方	事業の実施	運営の助言、負担金の支出に関する事	行政	255,000	開催	5	4	4	4	4	4	天竜区	水窪協働センター		事業縮小・内容変更	入場者数制限。	
107	区内文化施設を活用した文化振興事業	実行委員会	継続	水窪文化会館生涯学習講演会実行委員会	水窪地区の生涯学習の向上を図るため、及び水窪文化会館の利用促進を図るため。	みさくぼミュージックフェスティバル 会場：水窪文化会館 内容：浜松市内で活動している音楽愛好家による演奏会 ①第1回 開催日：令和4年5月28日（土） 来場者：150人 ②第2回 開催日：令和5年2月26日（日） 来場者：100人	事業目的を達成するための最も効果的な協働形態であり、住民の望む内容に対応できる。	双方	事業の実施	運営の助言、負担金の支出に関する事	行政	100,000	開催	5	4	4	4	4	4	天竜区	水窪協働センター		事業縮小・内容変更	入場者数制限。	
108	産業祭り「みさくぼ夢街道」開催事業	実行委員会	継続	みさくぼ夢街道実行委員会	商店街の活性化のため、産業祭を開催し、観光客の誘致や交流人口の増加を図る。	商店街の活性化のため、産業祭を開催。 内容：商店街通りを開放し、露天形式による特産品の販売及び各種団体による催しの実施 日程：令和4年11月6日	商店街の活性化のため、環境客の誘致や、交流人口の増加という同じ目的のため協働して事業実施している。	相手	事業の企画運営	運営の助言協力、負担金に関する事	双方	911,000	開催	5	5	5	4	4	4	天竜区	水窪協働センター		事業縮小・内容変更	新型コロナウイルスの影響を考慮し、商店街通りで開催していたものを1区画（マルシェ方式）に規模縮小して開催した。	
109	区内文化施設を活用した文化振興事業	実行委員会	継続	龍山地区文化振興事業実行委員会	浜松市龍山森林文化会館を活用した文化祭やコンサート、講演会等の各種文化振興事業を通じて、龍山地区の文化振興を図ることを目的とする。	○龍山森林文化会館を会場とした文化振興事業 森林ふれあいコンサート ・開始日：R4年5月29日（日） ・出演者：公益財団法人浜松交響楽団 ・来場者：104人 ○龍山森林文化会館を会場とした文化振興事業 文化講演会 ・開始日：R5年1月22日（日） ・講師：大谷昭宏 ・演題：みんなの命 輝くために ～人を大事にする社会を目指して～ ・来場者：140人	元々行政が文化振興の一環で行っていたものを、協働を促進するために実行委員会形式に変更したものの	行政	コンサートの企画・運営	・運営の助言・負担金支出	双方	655,000	開催	5	4	4	4	4	4	天竜区	龍山協働センター	参加者へのアンケートの実施	その他	座席数制限による入場可能人数の減少 基本的な感染対策による受付人工の増	

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
110	天竜区文化振興事業	実行委員会	継続	龍山地区文化振興事業実行委員会	浜松市龍山森林文化会館を活用した文化祭やコンサート、講演会等の各種文化振興事業を通じて、龍山地区の文化振興を図ることを目的とする。	○龍山ふれあい文化祭 ・開催日：R4年11月24日(木)～11月27日(日) ・作品展：出展数277点 ・舞台発表：8団体	元々行政が文化振興の一環で行っていたものを、協働を促進するために実行委員会形式に変更したものの	行政	文化祭の企画・運営	・運営の助言・負担金支出	双方	200,000	開催	5	4	4	4	4	天竜区	龍山協働センター	参加者へのアンケートの実施	その他	基本的な感染対策でホール座席の間引き	
111	天竜区秋葉ダムさくらマラソン大会開催事業	実行委員会	継続	天竜区駅伝大会等実行委員会龍山地域部会	市民のスポーツ振興、健康増進並びに、地域の一体感と活力の醸成及び地域の交流促進を図ることを目的とする。	○天竜区秋葉ダムさくらマラソン大会の開催 ・開催日：R5年3月26日(日) ・会場：秋葉ダム湖畔(左岸) ・種目：10Km ・定員：500名 ・申込：642名 ・参加者：501名	元々行政が地域振興・スポーツ振興の一環で行っていたものを、協働を促進するために実行委員会形式に変更したものの	行政	マラソン大会の企画・運営	・運営の助言・負担金支出	双方	410,000	開催	5	4	4	4	4	天竜区	龍山協働センター	参加者へのアンケートの実施	その他	基本的な感染対策に係るアルコール等の経費の増・検温票の提出を求めるなどの事務負担の増	
112	ほっとびあつやま産業祭開催事業	実行委員会	継続	ほっとびあつやま産業祭実行委員会	ほっとびあつやま産業祭が盛大に開催されることを目的とする。	○ほっとびあつやま産業祭の開催 ・開催日：R5年11月13日(日) ・会場：龍山総合運動場 ・内容：物産展、スタンプラリーなど ・来場者：約1,000人	元々行政が地域振興、産業振興の一環で行っていたものを、協働を促進するために実行委員会形式に変更したものの	行政	産業祭の企画・運営	運営の助言、負担金の支出	双方	974,000	開催	5	5	4	4	5	天竜区	龍山協働センター	来場者へのアンケートの実施	その他	感染対策として来場者の入り口を3箇所とし検温・手指消毒を実施。又食べ歩きを禁止とし、スペースを設け、その中のみ飲食を可とした。	

参 画

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
1	夢プロジェクトさくま	参画	継続	NPO法人がんばらまいか佐久間ほか計17団体	木質バイオマス等の地域資源を活用した新規事業を創出し地域活性化を目指す	木質バイオマス等の地域資源を活用し地域活性化を目指す「夢プロジェクトさくま」の実現に向けた事業検討	エネルギー・林業・農業など分野横断的な事業であり、様々な関係者の協力が必要であるため。	双方	事業主体	調整・支援	なし	0	開催	5	4	4	5	-	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
2	献上みかん事業	参画	継続	献上みかん及びネーブル推進委員会	地域の果樹栽培農家の意識の向上を図るとともに、地域住民の皇室への親近感をあわす	・献上品の募集、選定 ・皇室への献上(献上先 天皇家両陛下、上皇皇后陛下、秋篠宮皇嗣同妃殿下)	皇室への献上品の公正な選考にあたり、果樹生産者の状況を取り入れる必要があった。	行政	出品果実の募集、審査員の選定、審査方法の決定、審査会の運営に係る所掌	主催、経費負担、庶務	行政	498,099	開催	5	5	5	5	4	北区	区振興課		事業縮小・内容変更	献上の方法を、直接持参から宅配に変更した。	

協 定

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
1	陸上養殖現場等へのICT/IoT導入のための実証実験	協定	継続	KDDI株式会社	相互連携・協働による活動を推進し、双方の資源を有効に活用することにより地域活性化を目指す。	陸上養殖現場等へのICT/IoT導入のための実証実験の実施	ICTを活用し、陸上用章句の効率化の検討・検証が可能のため。	相手	グループ会社及び事業提携先の情報資源、人的資源の活用	地元企業及びその他関係者の情報資源、人的資源の活用	相手	0	開催	5	5	5	5	3	市民部	市民協働・地域政策課		影響なし	-	
2	学校開放スマート化	協定	継続	NTT西日本株式会社、株式会社構造計画研究所、株式会社メタップスペイメント	学校開放事業が抱える課題を解決し、利用者の利便性向上を図るため。	・施設予約システム ・パスワードによる電子錠の開錠・施錠 ・キャッシュレス決済を一括的に取り入れた。	令和3年度に学校開放事業スマート化実証に関する連携協定を締結。	双方	施設予約システム運用、電子錠等の操作説明、LED化提案	学校・利用団体との調整、納付書発行	行政	6,791,400	開催	-	3	3	3	3	市民部	スポーツ振興課		影響なし		
3	浜松市生きものパートナーシップ協定	協定	継続	特定非営利活動法人 浜松市東区の自然と文化を残そう会、大和ハウス工業株式会社 浜松支店	環境保全活動の担い手不足や、市民や事業者が取り組みやすい環境保全活動の場の創出が課題となっているため、市民・事業者・行政がパートナーシップ協定でつながること、課題の解決を目指す。	十湖池ビオトープの歴史文化及び生物多様性を保全するため、大和ハウス工業株式会社浜松支店は十湖池ビオトープの維持管理に労働力を提供し、市は両者の活動・取組を広報する。	十湖池ビオトープの維持管理には、高齢化に伴う担い手不足という問題を抱えていた。CSR活動を盛んに行っている大和ハウス工業浜松支店は、浜松で地域に根差した環境保護活動をしたと考え、その活動の場所を探していた。	相手	十湖池ビオトープの維持管理を連携して取り組む。	団体・企業のマッチングを行い、協定の取り組みを広報する。	相手	0	開催	5	5	5	5	4	環境部	環境政策課		影響なし		浜松市生きものパートナーシップ協定
4	浜松自動運転やらまいプロジェクト	協定	継続	BOLDLY株式会社、スズキ株式会社、遠州鉄道株式会社	地域住民の移動の利便性の向上等、地域公共交通の課題を解決し、地域及び産業の振興と次世代モビリティサービスの創出に資することが可能な、自動運転技術を活用したスマートモビリティサービスの事業化を図る。	自動運転技術を活用したスマートモビリティサービスの事業化を図るため、実証実験を実施	当市が抱える地域公共交通の課題解決を図るためには単独で事業を実施よりも知見や技術を持つ事業者と協業することにより円滑かつ効率的に事業遂行することができるため。	双方	システムの開発、実験車両の提供、車両運転手の提供等	関係機関との協議、参加者募集	双方	32,480	開催	-	5	5	5	5	産業部	産業振興課		事業縮小・内容変更	第3回実証実験において、自動運転車両の試乗者を関係者や事前に予約した人に限定して実施した。	
5	メガソーラー発電事業に関する基本協定	協定	継続	株式会社シーテック	再生可能エネルギーによる電力自給率の向上や地域活性化を目的としている。	市有地において民間事業者がメガソーラー発電事業を実施。 ①西区呉松町内の静ヶ谷最終処分場のA区画を太陽光発電所の事業用地として貸し付け ②発電事業及び地域活性化事業の実施	公募により決定	双方	事業の実施	土地の貸付	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
6	メガソーラー発電事業に関する基本協定	協定	継続	須山建設株式会社	再生可能エネルギーによる電力自給率の向上や地域活性化を目的としている。	市有地において民間事業者がメガソーラー発電事業を実施。 ①西区呉松町内の静ヶ谷最終処分場のB・C区画を太陽光発電所の事業用地として貸し付け ②発電事業及び地域活性化事業の実施	公募により決定	双方	事業の実施	土地の貸付	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性透視性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
7	メガソーラー発電事業に関する基本協定	協定	継続	中村建設株式会社	再生可能エネルギーによる電力自給率の向上や地域活性化を目的としている。	市有地において民間事業者がメガソーラー発電事業を実施。 ①北区引佐町別所内の引佐北部中学校跡地を太陽光発電所の事業用地として貸し付け ②発電事業及び地域活性化事業の実施	公募により決定	双方	事業の実施	土地の貸付	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
8	太陽光発電パートナーシップ協定	協定	継続	株式会社静岡銀行	太陽光発電の導入を積極的に推進する事とする。	太陽光発電の導入を積極的に推進するため、連携して一般家庭や事業者への普及啓発を図る。	浜松市と地元金融機関は、エネルギーの地産地消やエネルギー自給率の向上等に寄与する太陽光発電システムの導入拡大に向けた事業を協力して行うことを目的に、「はままつ太陽光発電パートナーシップ協定」を締結。	双方	市の事業への協力、金融商品の販売拡大	金融商品や相手方の啓発活動等の周知各種事業への取り組み	相手	0	開催	5	5	5	3	4	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
9	太陽光発電パートナーシップ協定	協定	継続	株式会社清水銀行	太陽光発電の導入を積極的に推進する事とする。	太陽光発電の導入を積極的に推進するため、連携して一般家庭や事業者への普及啓発を図る。	浜松市と地元金融機関は、エネルギーの地産地消やエネルギー自給率の向上等に寄与する太陽光発電システムの導入拡大に向けた事業を協力して行うことを目的に、「はままつ太陽光発電パートナーシップ協定」を締結。	双方	市の事業への協力、金融商品の販売拡大	金融商品や相手方の啓発活動等の周知各種事業への取り組み	相手	0	開催	5	5	5	3	4	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
10	太陽光発電パートナーシップ協定	協定	継続	浜松磐田信用金庫	太陽光発電の導入を積極的に推進する事とする。	太陽光発電の導入を積極的に推進するため、連携して一般家庭や事業者への普及啓発を図る。	浜松市と地元金融機関は、エネルギーの地産地消やエネルギー自給率の向上等に寄与する太陽光発電システムの導入拡大に向けた事業を協力して行うことを目的に、「はままつ太陽光発電パートナーシップ協定」を締結。	双方	市の事業への協力、金融商品の販売拡大	金融商品や相手方の啓発活動等の周知各種事業への取り組み	相手	0	開催	5	5	5	3	4	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
11	太陽光発電パートナーシップ協定	協定	継続	遠州信用金庫	太陽光発電の導入を積極的に推進する事とする。	太陽光発電の導入を積極的に推進するため、連携して一般家庭や事業者への普及啓発を図る。	浜松市と地元金融機関は、エネルギーの地産地消やエネルギー自給率の向上等に寄与する太陽光発電システムの導入拡大に向けた事業を協力して行うことを目的に、「はままつ太陽光発電パートナーシップ協定」を締結。	双方	市の事業への協力、金融商品の販売拡大	金融商品や相手方の啓発活動等の周知各種事業への取り組み	相手	0	開催	5	5	5	3	4	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
12	太陽光発電パートナーシップ協定	協定	継続	静岡県労働金庫	太陽光発電の導入を積極的に推進する事とする。	太陽光発電の導入を積極的に推進するため、連携して一般家庭や事業者への普及啓発を図る。	浜松市と地元金融機関は、エネルギーの地産地消やエネルギー自給率の向上等に寄与する太陽光発電システムの導入拡大に向けた事業を協力して行うことを目的に、「はままつ太陽光発電パートナーシップ協定」を締結。	双方	市の事業への協力、金融商品の販売拡大	金融商品や相手方の啓発活動等の周知各種事業への取り組み	相手	0	開催	5	5	5	3	4	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
13	太陽光発電パートナーシップ協定	協定	継続	とびあ浜松農業協同組合	太陽光発電の導入を積極的に推進する事を目的とする。	太陽光発電の導入を積極的に推進するため、連携して一般家庭や事業者への普及啓発を図る。	浜松市と地元金融機関は、エネルギーの地産地消やエネルギー自給率の向上等に寄与する太陽光発電システムの導入拡大に向けた事業を協力して行うことを目的に、「はままつ太陽光発電パートナーシップ協定」を締結。	双方	市の事業への協力、金融商品の販売拡大	金融商品や相手方の啓発活動等の周知 各種事業への取り組み	相手	0	開催	5	5	5	3	4	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
14	太陽光発電パートナーシップ協定	協定	継続	遠州中央農業協同組合	太陽光発電の導入を積極的に推進する事を目的とする。	太陽光発電の導入を積極的に推進するため、連携して一般家庭や事業者への普及啓発を図る。	浜松市と地元金融機関は、エネルギーの地産地消やエネルギー自給率の向上等に寄与する太陽光発電システムの導入拡大に向けた事業を協力して行うことを目的に、「はままつ太陽光発電パートナーシップ協定」を締結。	双方	市の事業への協力、金融商品の販売拡大	金融商品や相手方の啓発活動等の周知 各種事業への取り組み	相手	0	開催	5	5	5	3	4	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
15	太陽光発電パートナーシップ協定	協定	継続	三ヶ日町農業協同組合	太陽光発電の導入を積極的に推進する事を目的とする。	太陽光発電の導入を積極的に推進するため、連携して一般家庭や事業者への普及啓発を図る。	浜松市と地元金融機関は、エネルギーの地産地消やエネルギー自給率の向上等に寄与する太陽光発電システムの導入拡大に向けた事業を協力して行うことを目的に、「はままつ太陽光発電パートナーシップ協定」を締結。	双方	市の事業への協力、金融商品の販売拡大	金融商品や相手方の啓発活動等の周知 各種事業への取り組み	相手	0	開催	5	5	5	3	4	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
16	浜松市公共施設屋根貸し太陽光発電事業に関する基本協定	協定	継続	株式会社シーテック	電力自給率の向上や地域活性化につながる太陽光発電の導入拡大を図ることを目的とする。	公共施設の屋上において民間事業者が太陽光発電事業を実施。 ①芳川北小学校、北浜東小学校、北浜北小学校の屋上を浜松市教育委員会の行政財産使用許可により貸し付け ②太陽光発電事業や公共施設の防災機能の強化、市民に対する環境教育等を協力して実施	公募により決定	双方	事業の実施	学校屋上の貸付	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
17	浜松市公共施設屋根貸し太陽光発電事業に関する基本協定	協定	継続	株式会社ハマネン	電力自給率の向上や地域活性化につながる太陽光発電の導入拡大を図ることを目的とする。	公共施設の屋上において民間事業者が太陽光発電事業を実施。 ①富塚西小学校、都田南小学校の屋上を浜松市教育委員会の行政財産使用許可により貸し付け ②太陽光発電事業や公共施設の防災機能の強化、市民に対する環境教育等を協力して実施	公募により決定	双方	事業の実施	学校屋上の貸付	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
18	浜松市公共施設屋根貸し太陽光発電事業に関する基本協定	協定	継続	株式会社 中村組	電力自給率の向上や地域活性化につながる太陽光発電の導入拡大を図ることを目的とする。	公共施設の屋上において民間事業者が太陽光発電事業を実施。 ①内野小学校の屋上を浜松市教育委員会の行政財産使用許可により貸し付け ②太陽光発電事業や公共施設の防災機能の強化、市民に対する環境教育等を協力して実施	公募により決定	双方	事業の実施	学校屋上の貸付	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
19	浜松市公共施設屋根貸し太陽光発電事業に関する基本協定	協定	継続	東海防災株式会社	電力自給率の向上や地域活性化につながる太陽光発電の導入拡大を図ることを目的とする。	公共施設の屋上において民間事業者が太陽光発電事業を実施。 ①佐鳴台中学校、浜北北部中学校の屋上を浜松市教育委員会の行政財産使用許可により貸し付け ②太陽光発電事業や公共施設の防災機能の強化、市民に対する環境教育等を協力して実施	公募により決定	双方	事業の実施	学校屋上の貸付	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
20	浜松市公共施設屋根貸し太陽光発電事業に関する基本協定	協定	継続	RNH ソーラー 西日本合同会社	電力自給率の向上や地域活性化につながる太陽光発電の導入拡大を図ることを目的とする。	公共施設の屋上において民間事業者が太陽光発電事業を実施する。 ①和田東小学校、初生小学校、中川小学校、北浜中学校の屋上を浜松市教育委員会の行政財産使用許可により貸し付け ②太陽光発電事業や公共施設の防災機能の強化、市民に対する環境教育等を協力して実施	公募により決定	双方	事業の実施	学校屋上の貸付	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
21	エネルギー政策に関する連携協定	協定	継続	株式会社 浜松新電力	再生可能エネルギーの地産地消及びエネルギーの効率的な利用の促進	浜松版スマートシティを実現していくため、再生可能エネルギーの地産地消及びエネルギーの効率的な利用を促進 ①再生可能エネルギーの地産地消を推進 ②市民への節電・環境意識の醸成、市内経済の活性化を推進 ③市が関与し発電する再生可能エネルギーを売電、公共施設での再生可能エネルギー由来の電力の調達を促進 ④再生可能エネルギーを買電し、公共施設など市内施設へ安価に供給 ⑤エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会の構築を目指し、浜松版スマートシティの実現に向けた事業を連携して実施	同社設立に伴い協定を締結	双方	事業の実施	事業の実施	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
22	企業協賛を活用した公共施設へのLED照明等の設置に関する協定	協定	継続	NPO法人 静岡県CC緑化協会	環境意識の高い企業等の顕彰と、市民のエネルギー活用に対する意識向上を目的とする。	企業協賛により公共施設にLED照明等を設置。事業実施団体が協賛企業等の募集、設置工事前の調整、設置工事の施工、設置後の維持管理を行う。	公共施設へのLED灯導入を進めるにあたり、当時浜松市地球温暖化防止活動推進センターに指定されていた当該団体とともにスキームを構築した	双方	事業の実施	事業の補助	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		

No	事業名	協働形態	実施状況	相手方	事業の目的	事業概要	協働の経緯や決め手	事業提案者	事業実施にかかる役割		費用負担	市決算額(円)	開催中止	公正性・透明性	対等意識	役割分担	情報共有	協働効果	部・区等	課等	第三者による評価	新型コロナウイルスの影響	影響の具体的内容	備考
									相手方の役割	行政の役割														
23	浜松市産業用太陽光発電サポート体制構築に関する連携協定	協定	継続	一般社団法人日本太陽光メンテナンス協会、株式会社浜松新電力	市民や発電事業者による太陽光発電施設及び小型風力発電施設等の設計・施工や保守点検、修繕等の適切な実施を支援し、太陽光発電及び小型風力発電の導入拡大とともに、事業の長期安定化を図ることを目的としている。	浜松市内の太陽光発電所の持続的な活用及び適正な管理を図るため、長期安定的な太陽光発電事業を支えるサポート体制を、官民連携により構築 ①認定事業者の登録制度創設、②メンテナンス情報を配信する広報事業、③今後のサポート事業を担う協議会の設立、④スキルアップ講習	平成30年度に経産省の委託事業を受け、設備の適切な保守点検体制構築の推進を行ったもの	双方	事業の実施	事業の補助	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
24	浜松市マイクログリッド事業に関する基本協定	協定	継続	株式会社浜松新電力、株式会社シーエナジー	エネルギーの効率的利用により電料料軽減や防災力の向上につなげる	浜松市マイクログリッド事業（公共施設に太陽光パネル等を設置し、隣接施設間で電力融通などを行うことでエネルギーを有効活用する事業）を実施	H29年の環境省補助事業の応募にあたり、併しシーエナジーより市に共同提案の打診を受けた	双方	事業の実施	事業の調整	相手	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
25	夢プロジェクトさくまに関する連携協定	協定	継続	NPO法人がんばらまいか佐久間	木質バイオマス等の地域資源を活用した新規事業を創出し地域活性化を目指す	木質バイオマス等の地域資源を活用し地域活性化を目指す「夢プロジェクトさくま」の実現に向けて、NPOと市の役割を定めるもの	エネルギー・林業・農業など分野横断的な事業であり、様々な関係者の協力が必要であるため。	双方	事業の実施	協議の場提供、マッチング支援、情報提供	なし	0	開催	5	4	4	5	-	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
26	エネルギー政策に関する連携協定	協定	継続	株式会社シーエナジー	再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入、エネルギーの効率的な利用を推進するため	浜松市マイクログリッド事業等による公共施設における自立分散型電源の導入、スマートシティ実現に向けた事業を実施	浜松市マイクログリッド事業を契機とし、更なる事業「浜松版スマートシティ」の実現に向けて更なる連携を進めるため	双方	事業の実施	事業の実施	なし	0	開催	5	5	5	5	5	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		
27	夢プロジェクトさくまに関する基本協定	協定	継続	NPO法人がんばらまいか佐久間ほか計17団体	木質バイオマス等の地域資源を活用した新規事業を創出し地域活性化を目指す	木質バイオマス等の地域資源を活用し地域活性化を目指す「夢プロジェクトさくま」の実現に向けて、協議会参加団体間で基本方針や協議事項等を定めるもの	エネルギー・林業・農業など分野横断的な事業であり、様々な関係者の協力が必要であるため。	双方	事業の実施	協議の場提供、マッチング支援、情報提供	なし	0	開催	5	4	4	5	-	カーボンニュートラル推進事業本部	カーボンニュートラル推進事業本部		影響なし		